340
628

0026175000

0026175-000

特２６６－３２２

産業組合関係法規

産業組合中央会石川支会

昭和１１

ADF

特266
322

産業組合關係法規

目次

産業組合法……一
産業組合法施行規則……五五
産業組合法施行細則……七二
産業組合及同聯合會取扱規程……一六五
産業組合ニ關スル勅令並省令……一九六
一　産業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニ關スル件……一九六
二　産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金ノ管理ニ關スル件……一七〇

三 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル市街地指定ノ件……一七二
四 昭和七年法律第三十號産業組合法中改正法律附則第二條ノ産業組合又ハ産業組合聯合會ノ組織變更ニ關スル件……一七四
五 産業組合法第一條第八項ノ規定ニ依ル利用組合ノ設備指定ニ關スル件……一七五
六 産業組合法第六條ノ三ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一部委任ニ關スル件……一七六
産業組合申請屆出報告書式例……一七九
諸規程例……二三五

産業組合法

產業組合法

明治三十三年三月六日法律第三十四號
（同年勅令第三百一號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行）
改正明治三十九年四月十八日法律第四十五號
改正明治四十二年四月八日法律第二十七號
改正大正六年七月二十日法律第二十二號
改正大正十年四月十二日法律第七十三號
改正大正十二年四月五日法律第四十四號
改正大正十五年四月六日法律第五十四號
改正昭和七年九月六日法律第三十號
（昭和七年勅令第二百七十五號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行）

第一章　總則

第一條　本法ニ於テ產業組合トハ組合員ノ產業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル爲左ノ目的ヲ以テ設立スル社團法人ヲ謂フ

一　組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト

（信用組合）

二　組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト（販賣組合）

三　産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生産シテ組合員ニ賣却スルコト（購買組合）

四　組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト（利用組合）

信用組合ハ組合員外ノ者ニシテ組合加入ノ豫約ヲ爲シタルモノノ出資一口ノ金額及出資一口ニ付定款ノ定ムル所ニ依リ加入ニ關シ拂込ムヘキ金額ノ合計額ニ達スル迄ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

信用組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者、公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

市又ハ主務大臣ノ指定スル市街地カ組合ノ區域ニ屬スル信用組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ産業若ハ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ノ爲手形ノ割引ヲ爲シ又ハ前二項ノ貯金ノ外組合ノ區域内ニ居住スル組合員外ノ者ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル貯金ハ有限責任組合ニ在リテハ出資總額及準備金其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計、保證責任組合ニ在リテハ之ニ保證金額ヲ加ヘタル合計、無限責任組合ニ在リテハ出資總額ノ五倍及備準金其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計ヲ超エ之ヲ受入ルルコトヲ得ス

第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引又ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合ハ第一項第二號乃至第四號ノ事業ヲ兼ヌルコトヲ得ス

利用組合ノ設備ハ組合員ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限リ組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ利用セシムルコトヲ得

前項ノ設備ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

第二條　産業組合ノ組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種トス但シ有限責任タルコトヲ得ル組合ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル

一　前條第四項ノ信用組合ニシテ定款ノ定ムル所ニ依リ同條第一項第二號乃

至第四號ノ事業ヲ兼ネサルモノ

二　定款ノ定ムル所ニ依リ經濟ニ必要ナル物ノミヲ取扱フ購買組合ニシテ前條第一項第一號若ハ第二號ノ事業又ハ同條同項第四號ノ事業中産業ニ必要ナル設備ヲ利用セシムル事業ヲ兼ネサルモノ

無限責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完濟スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ、有限責任組合ニ在リテハ組合員ノ全員カ其ノ出資額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔シ、保證責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完濟スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ其ノ出資額ノ外一定ノ金額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス

第三條　産業組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第四條　産業組合ノ名稱中ニハ其ノ組織及目的ヲ示スヘキ文字ヲ用ウヘシ

産業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第五條　産業組合ニハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條　産業組合ニハ所得稅、營業收益稅及營業稅ヲ課セス

第六條ノ二　命令ノ定ムル所ニ依ル産業組合ノ住宅ノ建設、購入若ハ住宅用地ノ取得又ハ組合ト組合員トノ間ニ於ケル住宅若ハ其ノ用地ノ所有權移轉ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

第六條ノ三　本法中地方長官トアルハ區域カ道府縣ノ區域ヲ超ユル産業組合ニ付テハ之ヲ主務大臣トス

前項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一部ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第二章　設　立

第七條　産業組合ハ七人以上ニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス

第八條　組合ノ設立者ハ定款ヲ作リ之ヲ主タル事務所所在地ノ地方長官ニ差出シ設立ノ許可ヲ請フヘシ

第九條　定款ニハ本法ニ規定アルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載シ設立者之ニ署名捺印スヘシ

一　目　的
二　名　稱
三　組　織
三ノ二　區域
四　事務所
五　出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法
五ノ二　保證責任組合ニ在リテハ保證金額ニ關スル規定
六　第一回拂込ノ金額
七　剩餘金處分及損失分擔ニ關スル規定
八　準備金ノ額及其ノ積立ノ方法
九　組合員タル資格ニ關スル規定
十　組合員ノ加入及脫退ニ關スル規定
十一　組合ノ目的タル事業ノ執行ニ關スル規定
十二　存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由
信用組合ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外市町村ノ區域內ニ於テ

之ヲ定ムヘシ

第十條　產業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス

第十條ノ二　法人ハ產業組合ノ組合員タルコトヲ得ス但シ農事實行組合、養蠶實行組合其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ法人ノ產業組合ノ組合員ト爲ルニ付必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條ノ三　農事實行組合ハ一定ノ地區內ノ農業者ヲ以テ之ヲ組織シ組合員ノ共同ノ利益增進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

農事實行組合ハ法人トス

農事實行組合ノ地區ハ部落其ノ他之ニ準スル區域トス

第十條ノ四　蠶絲業組合法第二十條乃至第二十六條及第四十一條ノ規定ハ農事實行組合ニ之ヲ準用ス

蠶絲業組合法第二十條　養蠶實行組合ハ其ノ名稱中ニ養蠶實行組合ナル文字ヲ用フヘシ

養蠶實行組合ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ前項ニ揭クル文字ヲ用フルコトヲ得ス

同第二十一條　養蠶實行組合ヲ設立スルニハ其ノ地域内ノ養蠶者七人以上設立者ト爲リ規約ヲ作成スルコトヲ要ス

規約ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ設立者之ニ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

一　目的

二　名稱

三　地域

四　事務所ノ所在地

五　組合員ノ加入及脫退ニ關スル規定

六　事業及其ノ執行ニ關スル規定

七　役員ニ關スル規定

八　組合費其ノ他會計及資産ニ關スル規定

九　損失分擔ニ關スル規定

十　組合カ公告ヲ爲ス方法

十一　存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

同第二十二條　養蠶實行組合ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間以内ニ規約、役員ノ氏名及住所竝ニ設立ノ年月日ヲ具シ行政官廳ニ之ヲ屆出ツヘシ

前項ノ規定ニ依リ屆出テタル事項ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ日ヨリ二週間以内ニ之ヲ屆出ツヘシ

同第二十三條　養蠶實行組合ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間以内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

登記スヘキ事項左ノ如シ

一　第二十一條第二項第一號、第二號及第四號

二　設立ノ年月日

三　理事ノ氏名及住所

前項ニ掲クル事項ニ變更アリタルトキハ二週間以内ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ

同第二十四條　本法ニ依リ登記スヘキ事項ハ其ノ登記前ニ在リテハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

同第二十五條　養蠶實行組合カ本法ニ基キテ爲ス登記ニ付テハ登錄稅ヲ課セス

同第二十六條　民法第三十八條第一項、第四十四條、第四十八條、第五十條乃至第六十六條、第六十八條乃至第七十條及第七十二條乃至第八十二條竝ニ非訟事件手續法第三十五條、第三十六條、第三十七條ノ二、第百十七條、第百十九條乃至第百二十二條、第百三十六條乃至第百三十八條、第百四十二條、第百四十三條、第百四十七條乃至第

百五十條、第百五十條ノ三乃至第百五十七條及第百七十五條乃條第百七十七條ノ規定ハ養蠶實行組合ニ之ヲ準用ス但シ民法第四十八條及第七十七條中一週間トアルハ之ヲ二週間トス

同第四十一條　養蠶實行組合ノ理事、監事又ハ清算人左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

一　本法ニ依ル屆出ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

二　本法ニ依ル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

三　行政官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

四　本法ニ依ル總會ノ招集ヲ怠リタルトキ

五　組合ノ目的ニ非サル事業ヲ爲シタルトキ

六　本法ニ依リ事務所ニ備ヘ置クヘキ書類ヲ備ヘス、其ノ書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス若ハ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閲覽ヲ拒ミタルトキ

七　本法ニ違反シテ破産ノ宣告ヲ請求セサルトキ

八　本法ニ依ル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

九　清算ノ場合ニ於テ本法ニ違反シテ辨濟ヲ爲シ又ハ組合財産ノ分配ヲ爲シタルトキ

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第十條ノ五　組合員タル法人カ其ノ財産ヲ以テ債務ヲ完濟スルコト能ハサル場合ニ於テハ法人ノ組合員ノ全員ハ其ノ法人カ産業組合ニ對シ負擔スル一切ノ債務ニ付連帶無限ノ責任ヲ負擔ス

第十條ノ六　組合員タル法人ハ其ノ組合員カ脫退シタルトキハ遲滯ナク産業組合ニ之ヲ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ脫退シタル組合員モ亦其ノ通知ヲ爲スコトヲ得

第十條ノ七　組合員タル法人ノ組合員カ其ノ法人ヨリ脫退シタル場合ニ於テハ脫退シタル組合員ハ前條ノ脫退ノ通知前ニ生シタル法人ノ産業組合ニ對スル債務ニ付其ノ脫退ノ通知後二箇年間第十條ノ五ノ規定ニ依ル責任ヲ負擔ス

第十條ノ八　組合員タル法人ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル法人ノ産業組合ニ對スル債務ニ付テモ亦第十條ノ五ノ規定ニ依ル責任ヲ負擔ス

第十一條　出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ

出資一口ノ金額ノ最高限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條　組合カ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク各組合員ヲシテ第

一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

第十三條　前條ノ拂込アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條　登記スヘキ事項左ノ如シ

一　第九條第一號乃至第五號及第十二號ニ掲ケタル事項

二　設立許可ノ年月日

三　理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ登記ヲ爲スヘシ

登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十五條　行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ノ記載ハ變更セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ妨ケス

第十六條　民法第四十五條第二項、第三項及第四十八條ノ規定ハ期間ヲ除クノ外産業組合ニ之ヲ準用ス

民法第四十五條第二項及第三項(第一項ヲ略ス)

法人ノ設立ハ其主タル事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

法人ノ設立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ一週間内ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

同第四十八條　法人カ其事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ一週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ同期間内ニ第四十六條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノミノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第十六條ノ二　第十二條ノ拂込アリタルトキハ組合ハ二週間内ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ屆出テ同時ニ組合原簿ヲ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依ル屆出及提出アリタルトキハ地方長官ハ遲滯ナク各事務所所在地ノ登記所ニ設立ノ登記ヲ囑託シ且主タル事務所所在地ノ登記所ニ組合原簿ヲ送付スヘシ

第十六條ノ三　第十四條第一項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ組合ハ二週間内ニ變更ノ登記ヲ爲スヘキ事項ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ但シ登記ノ事由カ地方長官ノ認可其ノ他ノ處分ニ因リテ生シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル屆出アリタルトキハ地方長官ハ遲滯ナク各事務所所在地ノ登記所ニ登記ノ囑託ヲ爲スヘシ前項但書ノ場合亦同シ

第十六條ノ四　組合ハ主タル事務所ノ移轉又ハ組織變更ノ登記ニ關スル屆出ヲ爲スト同時ニ組合原簿ヲ地方長官ニ提出スヘシ但シ同一ノ登記所ノ管轄區域內ニ於テ事務所ヲ移轉シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

地方長官ハ主タル事務所所在地ノ登記所ニ前項ノ登記ヲ囑託スルト同時ニ組合原簿ヲ送付スヘシ

第十六條ノ五　組合原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　出資ノ總口數

二　拂込ミタル出資ノ總額

三　無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所

四　保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所及保證金額

登記所ノ受理シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第十四條第二項及第十五條ノ規定ハ組合原簿ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ六　第十六條ノ三ノ規定ハ組合原簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス

組合員ノ加入ノ場合ニ於テハ無限責任組合ニ在リテハ加入者ノ氏名及住所ヲ、保證責任組合ニ在リテハ加入者ノ氏名住所及保證金額ヲ記載シタル組合原簿ヲ加入ノ日ヨリ二週間內ニ地方長官ニ提出シ地方長官ハ遲滯ナク之ヲ主タル事務所所在地ノ登記所ニ送付スヘシ

組合原簿ニ記載シタル事項ノ變更又ハ組合原簿ノ提出ハ前二項ノ規定ニ拘ラス其ノ事業年度ノ終ヨリ二週間內ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ組合員ノ脫退又ハ保證金額ノ減少ニ付テハ總組合員ノ同意ヲ以テ定款ニ之ヲ定メタル場合ニ限ル

第三章　組合員ノ權利義務

第十七條　組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ

組合員ノ有スヘキ出資口數ハ三十口ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ五十口迄之ヲ增加スルコトヲ得

第十八條　組合員ハ組合ニ拂込ムヘキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

第十九條　組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スコトヲ得ス

組合員ニ非サル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ依ルヘシ

第二十條　組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス

第二十一條　持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十二條　新ニ組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル組合ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負擔ス

第二十三條　組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ理事ニ請求スルコトヲ得

第二十四條　組合員ニシテ總會ノ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ違背スト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一箇月內ニ其ノ決議ノ取消ヲ地方長官ニ請求スルコトヲ得

第四章　管理

第二十五條　產業組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立ノ當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十六條　理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條　理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條　理事及監事ノ選任及解任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條　理事ハ定款及總會ノ決議錄ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第二十九條ノ二　組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　各組合員ノ氏名、住所

二　各組合員ノ出資口數
三　各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日
四　出資各口ノ取得ノ年月日
五　保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額

第三十條　理事ハ通常總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閲覽ヲ求ムルコトヲ得

第三十一條　理事ハ前條第一項ニ掲ケタル書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第三十一條ノ二　産業組合カ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所又ハ其ノ者カ組合ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

第三十一條ノ三　理事ハ少クトモ毎事業年度一回通常總會ヲ開クコトヲ要ス

第三十二條　民法第四十四條第一項、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五

十五條及第六十一條第一項ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス

民法第四十四條第一項　法人ハ理事其他ノ代理人カ其職務ヲ行フニ付他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

同第五十二條第二項　理事數人アル場合ニ於テ定款又ハ寄附行爲ニ別段ノ定ナキトキハ法人ノ事務ハ理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

同第五十三條　理事ハ總テ法人ノ事務ニ付キ法人ヲ代表ス但定款ノ規定又ハ寄附行爲ノ趣旨ニ違反スルコトヲ得ス又社團法人ニ在リテハ總會ノ決議ニ從フコトヲ要ス

同第五十四條　理事ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

同第五十五條　理事ハ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議ニ依リテ禁止セラレサルトキニ限リ特定ノ行爲ノ代理ヲ他人ニ委任スルコトヲ得

同第六十一條第一項　社團法人ノ理事ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第三十三條　監事ハ理事其ノ他組合ノ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十四條　民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

民法第五十九條　監事ノ職務左ノ如シ

一　法人ノ財産ノ狀況ヲ監査スルコト
二　理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコト
三　財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付キ不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ主務官廳ニ報告スルコト
四　前號ノ報告ヲ爲ス爲メ必要アルトキハ總會ヲ招集スルコト

第三十四條ノ二　理事缺ケタルトキハ總會ノ招集ハ監事之ヲ行フ
理事カ第二十三條ノ規定ニ依ル請求アリタル日ヨリ二週間內ニ正當ノ事由ナクシテ總會招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ監事ハ其ノ總會ヲ招集スヘシ

第三十五條　組合カ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト理事トノ間ノ訴訟ニ付テモ亦同シ

第三十六條　總會ノ議決ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十七條　組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス但シ組合員ニ非サレハ代理人タルコトヲ得ス
代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十八條　民法第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項及第六十六條ノ規定ハ產業組合ニ之ヲ準用ス

民法第六十二條　總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ其會議ノ目的タル事項ヲ示シ定款ニ定メタル方法ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

同第六十四條　總會ニ於テハ第六十二條ノ規定ニ依リテ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノミ決議ヲ爲スコトヲ得但定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

同第六十五條　第一項各社員ノ表決權ハ平等ナルモノトス

同第六十六條　社團法人ト或社員トノ關係ニ付キ議決ヲ爲ス場合ニ於テハ某社員ハ表決權ヲ有セス

第三十八條ノ二　組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ定款ヲ以テ總會ニ代ハルヘキ總代會ヲ設クルコトヲ得
總會ニ關スル規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス但シ總代會ニ於テハ解散及合併ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第三十九條　定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘシ
第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十條　組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間內ニ財產目錄及貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間內ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間內ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從ヒテ公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

第四十一條　債權者カ前條第二項ノ期間內ニ出資ノ減少ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ出資ヲ減少スルコトヲ得ス

第四十二條　前二條ノ規定ハ保證責任組合カ組合員ノ保證金額ヲ減少スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條　組合員カ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツヘシ但シ取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業ノ分量ニ對シテ配當スヘキ剩餘金ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

組合員ニ配當スヘキ剩餘金又ハ持分ノ計算ニ付テハ計算ノ基礎トナルヘキ金額ニシテ計算上不便ナル端數金額ハ之ヲ切捨ツルコトヲ得

第四十四條　組合ハ損失ヲ塡補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

剩餘金配當ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條　組合ハ第五十三條ノ場合ヲ除クノ外持分ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得ス

第四十六條　組合ハ定款ヲ以テ定メタル準備金ノ額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第四十六條ノ二　信用組合ハ第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ總額ノ四分ノ一以上ノ金額ヲ拂戻準備金トシテ勅令ノ定ムル所ニ依リ管理スヘシ

前項ノ金額ハ事業年度ニ從ヒ每六箇月末日現在ノ貯金總額ニ依リ之ヲ定ム

第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ爲シタル者ハ第一項ノ拂戻準備金ノ上ニ先取特權ヲ有ス

第四十六條ノ三　有限責任又ハ保證責任ノ信用組合カ第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ニ關スル債務ヲ完濟スルコト能ハサルトキハ各理事連帶シテ之ヲ辨濟

スルノ責ニ任ス

前項ノ規定ニ依ル理事ノ責任ハ其ノ退任前ノ債務ニ付退任ノ登記後二箇年間仍存續ス

第四十七條　組合ノ事業年度ハ一箇年トス但シ定款ヲ以テ六箇月ト爲スコトヲ得

第四十八條　組合ハ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受クルコトヲ得ス

第四十八條ノ二　組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル組合員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第五章　加入及脫退

第四十九條　組合員ノ加入ハ無限責任組合ニ在リテハ總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

前項ノ同意ニ付テハ組合ハ總組合員ニ對シ加入ニ異議アラハ二週間ヲ下ラサル一定ノ期間內ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ期間內ニ異議ヲ述ヘサル者ハ同意ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十條　定款ヲ以テ組合ノ存立時期ヲ定メタルト否トヲ問ハス組合員ハ六箇月前ニ豫告ヲ爲シ事業年度ノ終ニ於テ脫退スルコトヲ得但シ第四十七條但書ノ規定ニ依リ事業年度ヲ六箇月ト爲シタル組合ニ在リテハ豫告ハ三箇月前ニ之ヲ爲スヲ以テ足ル

前項ノ豫告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ二箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十一條　組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脫退ス

一　組合員タル資格ノ喪失
二　死亡
三　破產
四　禁治產
五　除名

第五十二條　除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ除名シタル組合員ニ其ノ旨ヲ通知スルニ非サレ

ハ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第五十三條　脫退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第五十四條　脫退シタル組合員ノ持分ハ其ノ脫退シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム但シ定款ノ定ムル所ニ依リ脫退當時ノ財産ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

第五十五條　持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三箇月內ニ之ヲ爲スヘシ但シ前條但書ノ場合ニ於テハ脫退ノ時ヨリ三箇月內ニ之ヲ爲スヘシ持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二箇年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第五十六條　持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財産ヲ以テ組合ノ債權ヲ完濟スルニ足ラサルトキハ脫退シタル組合員ハ其ノ負擔ニ歸スヘキ損失額ヲ拂込ムヘシ

第五十七條　脫退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完濟スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第五十八條　無限責任組合及保證責任組合ニ在リテハ脫退シタル組合員ハ脫退前ノ組合債權者ニ對シ其ノ脫退ヲ組合原簿ニ記載シタル後二箇年間責任ヲ負擔ス

前項ノ規定ニ依ル期間ハ總組合員ノ同意アルトキハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ延長シタル期間ハ第一項ノ規定ニ違背セサル限リ之ヲ短縮スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第四十條及第四十一條ノ規定ヲ準用ス

前三項ノ規定ハ持分ヲ讓渡シタル組合員ニ之ヲ準用ス

第六章　監督

第五十九條　產業組合ハ主務大臣、地方長官及北海道支廳長之ヲ監督ス

第六十條　監督官廳ハ何時ニテモ理事又ハ淸算人ヲシテ組合ノ事業、財產又ハ淸算事務ニ關スル報告ヲ爲サシメ組合ノ事業、財產又ハ淸算事務ノ狀況ヲ檢査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

監督官廳ハ組合淸算ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ組合ニ對シ其ノ財產ノ供託ヲ命スルコトヲ得

第六十條ノ二　理事ノ缺ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ地方長官ハ假ニ理事ヲ選任スルコトヲ得

第六十一條　組合ノ事業又ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲カ定款若ハ法令ニ違背シ其ノ他公益ヲ害スル虞アルトキハ主務大臣又ハ地方長官ハ總會ノ決議ヲ取消シ理事、監事若ハ清算人ノ改選ヲ命シ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ヲ解散スルコトヲ得

第七章　解散

第六十二條　組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一　定款ニ定メタル事由ノ發生

二　總會ノ決議

三　組合ノ合併

四　組合員カ七人未滿ニ減ジタルトキ

五　組合ノ破産

第二十八條ノ規定ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ準用ス但シ無限責任組合カ合併セムトスルトキ又ハ保證責任組合若ハ有限責任組合カ合併ニ因リテ組織變更ト同一ノ結果ヲ生スヘキトキハ其ノ合併ニ付總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

第六十二條ノ二　組合定款ニ定メタル存立時期ノ滿了ニ因リテ解散シタル場合ニ於テハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ組合ヲ繼續スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ存立時期滿了ノ日ヨリ一箇年内ニ認可ヲ申請スルコトヲ要ス

前項ノ繼續ニ同意セサル組合員ハ組合繼續ノ時ニ於テ脫退シタルモノト看做ス

第六十三條　組合カ解散シタルトキハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ外各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條第二項及第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條ノ二　合併ニ因リテ組合ヲ設立スル場合ニ於テハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル選任ニ之ヲ準用ス

第六十四條　第四十條及第四十一條ノ規定ハ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條　總會ノ決議ニ因ル解散又ハ合併ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サ

レハ其ノ效力ヲ生セス

第六十六條　組合カ合併ヲ爲シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存續スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條　合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第六十八條　組合ハ總組合員ノ同意ヲ以テ其ノ組織ヲ變更スルコトヲ得

組合カ組織變更ニ因リ組合員ノ責任ヲ減少スルトキハ第四十條及第四十一條ニ定メタル手續ヲ爲スヘシ

第六十九條　民法第七十條ノ規定ハ產業組合ノ解散ニ之ヲ準用ス

民法第七十條　法人カ其債務ヲ完濟スルコト能ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ理事若クハ債權者ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破產ノ宣告ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ理事ハ直チニ破產宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第八章　清　算

第七十條　清算人ハ其ノ職權ノ範圍內ニ於テ理事ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第七十一條　清算人ハ就職後遲滯ナク組合財產ノ現況ヲ調査シ財產目錄及貸借對照表ヲ作リ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十二條　清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合財產ヲ分配スルコトヲ得ス

第七十三條　清算事務カ終リタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十三條ノ二　清算人タル者ナキ時又ハ清算人ノ缺ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ地方長官ハ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第七十三條ノ三　重要ナル事由アルトキハ地方長官ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十四條　清算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ氏名、住所ヲ登記スヘシ

第十四條　第二項及第十六條ノ三ノ規定ハ清算人ニ關スル登記ニ之ヲ準用ス

第七十四條ノ二　清算結了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條　民法第七十三條、第七十四條及第七十八條乃至第八十一條ノ規定ハ產業組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

民法第七十三條　解散シタル法人ハ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ其清算ノ結了ニ至ルマテ尙ホ存續スルモノト看做ス

同第七十四條　法人カ解散シタルトキハ破產ノ場合ヲ除ク外理事其清算人ト爲ル但定款若クハ寄附行爲ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラス

同第七十八條　清算人ノ職務左ノ如シ

一　現務ノ結了

二　債權ノ取立及債務ノ辨濟

三　殘餘財產ノ引渡

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲メニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

同第七十九條　清算人ハ其就職ノ日ヨリ二个月內ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間內ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但其期間ハ二个月ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ公告ニハ債權者カ期間內ニ申出ヲ爲ササルトキハ其債權ハ清算ヨリ除斥セラルヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス但清算人ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ス

清算人ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其申出ヲ催告スルコトヲ得ス

同第八十條　前條ノ期間後ニ申出テタル債權者ハ法人ノ債務完濟ノ後未タ歸屬權利者ニ引渡ササル財產ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得

同第八十一條　清算中ニ法人ノ財產カ其債務ヲ完濟スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ清算人ハ直チニ破產宣告ノ請求ヲ爲シテ其旨ヲ公告スルコトヲ要ス

清算人ハ破產管財人ニ其事務ヲ引渡シタルトキハ其任ヲ終ハリタルモノトス

本條ノ場合ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破產管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第九章　產業組合聯合會及產業組合中央會

第七十六條　產業組合聯合會ハ左ノ目的ヲ以テ之ヲ設立スルコトヲ得

一　所屬組合ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト（信用組合聯合會）

二　所屬組合ノ賣却スル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト（販賣組合聯合會）

三　所屬組合ノ購買スル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生産シテ所屬組合ニ賣却スルコト（購買組合聯合會）

四　所屬組合ヲシテ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト（利用組合聯合會）

産業組合聯合會ハ産業組合又ハ産業組合聯合會ヲ以テ之ヲ構成ス但シ信用組合聯合會ハ同種ノ事業ヲ行フ聯合會ヲ以テ、販賣組合聯合會ハ同種ノ事業ヲ行ハサル産業組合又ハ産業組合聯合會ヲ以テ之ヲ構成スルコトヲ得ス

第七十六條ノ二　信用組合聯合會ハ日本勸業銀行、日本興業銀行、北海道拓殖銀行、農工銀行又ハ産業組合中央金庫ニ對シ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ債務ノ保證ヲ爲シタルトキハ信用組合聯合會ハ銀行又ハ産業組合中央金庫ノ委任ヲ受ケ其ノ債權ノ取立ヲ爲スコトヲ得

第七十六條ノ三　道府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ所屬組合又ハ所屬聯合會ニ對シ手形ノ割引ヲ爲スコトヲ得

第七十七條　産業組合聯合會ハ社團法人トス

産業組合聯合會ノ組織ハ保證責任トス

産業組合聯合會ノ所屬組合及所屬聯合會ノ保證責任ハ其ノ出資總額ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第七十八條　産業組合又ハ産業組合聯合會カ産業組合聯合會ニ加入シ又ハ脫退セムトスルトキハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第七十九條　産業組合聯合會ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外道府縣ノ區域内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスル二箇以上ノ産業組合聯合會カ合併セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八十條　産業組合聯合會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ理事及監事ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ニ

非サル者ヨリ選任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ選任ニ付地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

産業組合聯合會設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第八十條ノ二　産業組合聯合會ノ所屬組合及所屬聯合會ノ有スヘキ出資口數ハ百口ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ五百口迄之ヲ增加スルコトヲ得

第八十一條　産業組合聯合會ニハ本章ニ規定アルモノ及第十條ノ五乃至第十條ノ八ノ規定ヲ除クノ外産業組合ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第七條中七人以上トアルハ之ヲ二人以上トシ第六十二條第一項第四號中七人未滿トアルハ之ヲ二人未滿トス

第八十二條　産業組合中央會ハ産業組合及産業組合聯合會ノ普及、發達及聯絡ヲ圖ル目的ヲ以テ設立スルコトヲ得

産業組合中央會ハ社團法人トス

産業組合中央會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ事業ノ一部ヲ行フコトヲ得

第八十三條　産業組合中央會ノ名稱中ニハ産業組合中央會ナル文字ヲ用ウヘシ

産業組合中央會ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合中央會タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第八十四條　産業組合中央會ハ全國ヲ通シテ一箇トシ其ノ設立ハ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

産業組合中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十五條　産業組合及産業組合聯合會ハ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

前項以外ノ者ト雖定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

第八十六條　産業組合中央會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　名稱

二　事務所

三　會員ノ加入及脫退ニ關スル規定

四　會員ノ權利義務ニ關スル規定

五　資産ニ關スル規定
六　役員ニ關スル規定七會議ニ關スル規定
八　事業ノ執行ニ關スル規定
九　定款ノ變更ニ關スル規定
十　存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス

第八十七條　産業組合中央會設立ノ許可アリタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

登記スヘキ事項左ノ如シ

一　目的及第八十二條第三項ノ規定ニ依ル事業ノ種類
二　第八十六條第一項第一號、第二號及第十號ニ掲ケタル事項
三　資産ノ總額
四　設立許可ノ年月日
五　理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ登記ヲ爲スヘシ登記前ニ

在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十六條ノ三ノ規定ハ第一項及前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ同條中地方長官トアルハ主務大臣トス

第八十八條　産業組合中央會ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

第八十九條　産業組合中央會ノ理事及監事ハ會員タル産業組合又ハ産業組合聯合會ノ理事、監事及第八十五條第二項ノ會員ノ中ヨリ之ヲ選任スヘシ

第九十條　産業組合中央會ノ總會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員ノ中ヨリ選出シタル代表者ヲ以テ組織ス但シ第九十二條ニ於テ準用シタル第六十二條第一項第二號ノ總會ハ會員ヲ以テ組織ス

第九十一條　産業組合中央會ハ主務大臣之ヲ監督ス

第九十二條　第三條、第五條乃至第六條ノ二、第七條、第十條、第十五條、第十六條、第二十六條、第二十七條、第二十九條、第三十條乃至第三十五條、第三十九條第一項、第四十七條、第六十條、第六十一條、第六十二條第一項第一號第二號第四號第五號、第六十三條、第六十五條、第六十九條乃至第七十五條、第八十條第二項、第九十三條ノ二及第九十四條竝民法第六十二條及

第六十四條ノ規定ハ產業組合中央會ニ之ヲ準用ス但シ第六十五條、第七十三條ノ二及第七十三條ノ三中竝第六十三條、第七十四條及第七十四條ノ二ニ於テ準用シタル第十六條ノ三中地方長官トアルハ主務大臣トス

第十章　罰　則

第九十三條　組合ノ理事又ハ監事何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス組合ノ事業ノ範圍外ニ於テ貸付若ハ手形ノ割引ヲ爲シ又ハ投機取引ノ爲ニ組合財產ヲ處分シタルトキハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ニハ之ヲ適用セス

第九十三條ノ二　組合ノ理事、監事又ハ淸算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上三百圓以下ノ過料ニ處セラル

一　本法ニ定メタル屆出若ハ組合原簿ノ提出ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ屆出ヲ爲シ若ハ組合原簿ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

二　官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

三　第二十九條第一項及第三十條第一項ノ規定ニ違背シ又ハ第二十九條第一項及第三十條第一項ニ掲ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ若ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閲覽ヲ拒ミタルトキ

四　第一條第五項、第四十三條、第四十五條乃至第四十六條ノ二、第四十八條又ハ第七十二條ノ規定ニ違背シタルトキ

五　第六十條ノ報告ヲ爲サス又ハ檢査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ

六　民法第七十九條ノ期間內ニ債權者ニ辨償ヲ爲シタルトキ

七　民法第七十九條又ハ第八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

八　民法第七十條又ハ第八十一條ノ規定ニ違背シタルトキ

九　組合ノ目的タル事業ニ非サル營利事業ヲ營ミタルトキ

十　第四十條又ハ第四十一條ノ規定ニ違背シテ出資一口ノ金額若ハ組合員ノ保證金額ヲ減少シ、第五十八條ノ規定ニ依ル責任期間ノ短縮ヲ爲シ又ハ組合ノ合併若ハ組織變更ヲ爲シタルトキ

十一　法令又ハ定款ニ違背シテ剩餘金ヲ處分シタルトキ

民法第七十條ハ第六十九條、民法第七十九條及同第八十一條ハ第七十五條ノ參照ニ出ツ

第九十三條ノ三　第四條第二項又ハ第八十三條第二項ノ規定ニ違背シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ過料ニ處セラル

第九十四條　非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

非訟事件手續法第二百六條　民法第八十四條、第千百七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ商法第十八條第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ二、第五百三十六條及ヒ商法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項第六十九條、第七十五條第三項、第八十七條ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス

同第二百七條　過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ

當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ効力ヲ有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ

其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

同第二百八條　過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ効力ヲ有ス

過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六篇ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

附　則

第九十五條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十六條　産業組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所、産業組合聯合會及産業組合中央會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

第九十七條　各登記所ニ産業組合登記簿、産業組合聯合會登記簿及産業組合中央會登記簿ヲ備フ

第九十八條　登記ノ囑託ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

囑託書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　産業組合、産業組合聯合會又ハ産業組合中央會ノ名稱及事務所

二　登記ノ目的及事由

三　年　月　日

四　登記所ノ表示

第九十九條　設立登記ノ囑託書ニハ定款及屆書ヲ添附シ其ノ他ノ登記ノ囑託書ニハ屆出ニ因ル場合ニ於テハ屆書ヲ添附スヘシ

第百條　削　除

第百一條　削　除

第百二條　削　除

第百三條　削　除

第百四條　本法ノ規定ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所遲滯ナク之ヲ公告スヘシ

但シ組合原簿ニ記載シタル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百五條　非訟事件手續法第百三十八條、第百三十八條ノ二、第百四十一條乃至第百四十六條、第百四十八條、第百四十八條ノ二、第百五十一條乃至第百五十一條ノ六、第百五十四條乃至第百五十八條、第百六十五條及第百七十五條ノ規定ハ産業組合、産業組合聯合會及産業組合中央會ニ之ヲ準用ス

非訟事件手續法第百三十八條　左ニ掲ケタル者ハ清算人トシテ之ヲ選任スルコトヲ得ス

一　未成年者

二　禁治産者及ヒ準禁治産者

三　剝奪公權者及停止公權者

四　裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人

五　破産者

同第百三十八條ノ三　第百二十九條ノ三及ヒ第百二十九條ノ四ノ規定ハ裁判所カ清算人又ハ前條ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲スヘキ者ヲ選任シタル場合ニ之ヲ準用ス（本條ハ昭和二年三月法律第三十三號ヲ以テ改正セラレ非訟事件手續法第百三十八條ノ三トナル）

同第百二十九條ノ三　商法第百二十四條又ハ第百九十八條ノ規定ニ依リ裁判所カ檢査役ヲ選任シタル場合ニ於テハ會社ヲシテ之ニ報酬ヲ與ヘシムルコトヲ得其額ハ取締役及ヒ監査役ノ陳述ヲ聽キ裁判所之ヲ定ム

同第百二十九條ノ四　前條ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

同第百四十一條　各登記所ニ各商業登記簿ノ見出帳ヲ備フ

同第百四十二條　登記所ハ何人ニモ登記簿ノ閲覽ヲ許シ又ハ手數料ヲ納付スルトキハ之ニ其謄本若クハ抄本ヲ交付スヘシ

登記所ハ登記上利害ノ關係ヲ疏明シテ申請ヲ爲シタル者ニハ其關係アル部分ニ限リ登記簿ノ附屬書類ノ閲覽ヲ許スヘシ

郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請フトキハ登記所ハ之ヲ送付スヘシ

同第百四十三條　登記所ハ申請ニ因リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ爲スヘシ

同第百四十四條　登記シタル事項ノ公告ハ官報及ヒ新聞紙上ニ少クモ一回之ヲ爲スコトヲ要ス

公告ハ之ヲ掲載シタル最終ノ官報及ヒ新聞紙發行ノ日ノ翌日之ヲ爲シタルモノト看做ス

同第百四十五條　區裁判所ハ毎年十二月ニ翌年登記事項ノ公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙ヲ選定シ官報及ヒ新聞紙ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙カ休刊又ハ廢刊ヲ爲ストキハ更ニ他ノ新聞紙ヲ選定シ前項ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

同第百四十六條　區裁判所ハ其管轄内ニ公告ヲ爲サシムルニ適當ナル新聞紙ナシト認ムルトキハ新聞紙ノ公告ニ代ヘ登記所及ヒ其管轄内ノ市町村役場ノ掲示場ニ公告ヲ爲スコトヲ得

同第百四十八條　當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其更正ヲ申請スルコトヲ得

同第百四十八條ノ二　當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記カ商法又ハ本法ノ規定ニ依リテ許スヘカラサルモノナルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其抹消ヲ申請スルコトヲ得

同第百五十一條　登記所ハ登記ノ申請カ商法又ハ本章ノ規定ニ適セサルトキハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ此決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ決定ハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ申請人ニ送達スルコトヲ要ス

同第百五十一條ノ二　登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記カ商法又ハ本法ノ規定ニ依リテ許スヘカラサルモノナルコトヲ發見シタルトキハ登記ヲ爲シタル者ニ對シ一ヶ月ヲ超エサル期間ヲ定メ其期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ登記ヲ抹消スヘキ旨ヲ通知スヘシ

登記ヲ爲シタル者ノ住所又ハ居所カ知レサルトキハ前項ノ通知ニ代ヘ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ公告スヘシ

登記所ハ右ノ外相當ト認ムル新聞紙ニ同一ノ公告ヲ掲載セシムルコトヲ得

同第百五十一條ノ三　異議ノ申立アリタルトキハ登記所ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘシ

前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

同第百五十一條ノ四　異議ノ申立ナキトキ又ハ異議ヲ却下スル裁判カ確定シタルトキハ登記所ハ職權ヲ以テ登記ヲ抹消スヘシ

同第百五十一條ノ五　前三條ノ規定ハ本店及支店ノ所在地ニ於テ登記スヘキ事項ノ登記ニ付テハ本店ノ所在地ニ於テ爲シタル登記ニノミ之ヲ適用ス

前項ノ場合ニ於テ本店所在地ノ登記所カ登記ヲ抹消シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ支店所在地ノ登記所ニ通知スヘシ

支店所在地ノ登記所カ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク登記ヲ抹消スヘシ

同第百五十一條ノ六　登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スヘシ但其錯誤又ハ遺漏カ登記所ノ過誤ニ出テタルトキハ此限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ登記所ハ遲滯ナク地方裁判所長ノ許可ヲ得テ登記ノ更正ヲ爲スヘシ

同第百五十四條　商業登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ一定ノ期間ヲ定メテ登記ノ回復ニ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

同第百五十五條　司法大臣ハ數個ノ登記所ノ管轄ニ屬スヘキ商業登記ノ事務ヲ其一登記所ニ委任スルコトヲ得

同第百五十六條　登記簿ノ調製其他登記ニ關スル施行細則ハ司法大臣之ヲ定ム

同第百五十七條　不動產登記法第十條、第十三條、第十八條、第二十條、第二十二條、第二十四條及ヒ第五十九條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

不動產登記法第十條登記所ニ於テ其事務ヲ停止セサルコトヲ得サル事故ノ生シタルトキハ司法大臣ハ期間ヲ定メテ其停止ヲ命スルコトヲ得

同第十三條　登記官吏カ其職務ノ執行ニ付キ申請人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害カ登記官吏ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限リ之ヲ賠償スル責ニ任ス

同第十八條　登記簿ニハ地方裁判所長其枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ且每葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

同第二十條　登記簿、見出帳、共同人名簿及ヒ圖面ハ永久ニ之ヲ保存スルコトヲ要ス

申請書其他ノ附屬書類ハ申請書受附ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス

同第二十二條　登記簿及ヒ其附屬書類ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除ク外登記

所外ニ持出スコトヲ得ス但第二十條第二項ニ掲ケタル書類ニ付テハ裁判所又ハ審判事ノ命令又ハ囑託アリタルトキハ此限ニ在ラズ

同第二十四條　登記簿及其ノ附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ司法大臣ハ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

同第百五十八條　商號ノ登記ハ同市町村内ニ於テハ同一ノ營業ノ爲メ他人カ登記シタルモノト判然區別シ得ルトキニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

同第百六十五條　登記所カ第百五十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ商號ニ關スル登記ノ更正ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スヘシ

同第百七十五條　清算人ニ關スル登記ハ清算ヲ爲スヘキ會社ノ登記所ノ管轄トス前項ノ登記ハ會社ノ登記ニ記載シテ之ヲ爲ス

附　則（明治四十二年法律第二十七號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治四十二年勅令第二百十一號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行）

本法施行前産業組合カ裁判所ニ差出シタル組合員名簿ハ組合原簿ト看做ス

附　則（大正六年法律第二十二號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正六年十月二十六日勅令第百九十九號ヲ以テ同年十一月一日ヨリ施行）

本法施行前ニ登記シタル産業組合及産業組合聯合會ニシテ定款ニ區域ノ定アルモノニ付テハ地方長官ハ本法施行ノ日ヨリ三月内ニ區域ノ登記ヲ各事務所所在地ノ登記所ニ囑託スヘシ

附　則（大正十年法律第七十三號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十年八月三日勅令第三百七十一號ヲ以テ同年八月十日ヨリ施行）

本法施行前ニ設立シタル生産組合又ハ生産組合聯合會ハ之ヲ本法ニ依リ設立シタル利用組合又ハ利用組合聯合會ト看做ス

附　則（大正十五年法律第五十四號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第五十九條及第百六條ニ關スル規定ハ郡長及島司廢止ノ日ヨリ之ヲ施行ス（大正十五年五月廿五日勅令第百卅號ヲ以テ同日ヨリ施行）

附　則（昭和七年九月六日法律第三十號）

第一條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和七年九月三十日勅令第二百七十五號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行）

第二條　本法施行前ニ設立シタル有限責任ノ組合（第二條第一項但書ノ改正規定ニ掲クル組合ヲ除ク）又ハ聯合會ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ五箇年ヲ限リ第二條第一項但書及第七十七條ノ改正規定ニ依ラス仍從前ノ規定ニ依ル

第三條　前條ノ組合ハ同條ノ期間內ニ總會ニ於テ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テスル決議ニ依リ其ノ組織ヲ變更シ保證責任ノ組合ト爲スコトヲ得

前項ノ組織變更ニ同意セサル組合員ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ組織變更ノ時ニ於テ脫退シタルモノト看做ス

前二項ノ規定ハ前條ノ聯合會ニ之ヲ準用ス

第四條　附則第二條ノ組合又ハ聯合會ニシテ同條ノ期間內ニ其ノ組織ヲ變更シテ左ニ掲クル組織ト爲ササルモノハ其ノ期間滿了ノ日ニ於テ解散ス

一　組合ニ在リテハ保證責任又ハ無限責任

二　聯合會ニ在リテハ保證責任

第五條　第十條ノ二第一項ノ改正規定ニ依リ產業組合ノ組合員タルコトヲ得サル法人ニシテ本法施行ノ際現ニ產業組合ノ組合員タルモノハ當分ノ內仍其ノ組合員タルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第十條ノ五乃至第十條ノ八ノ規定ヲ適用セス

第六條　蠶絲業組合法第二十三條第二項第一號中「第一號乃至第三號、第十號及第十一號」ヲ「第一號、第二號及第四號」ニ改メ同條同項中第二號ヲ削リ第三號ヲ第二號トシ第四號ヲ第三號トス

第七條　蠶絲業組合法第二十六條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ民法第四十八條及第七十七條中一週間トアルハ之ヲ二週間トス

産業組合法施行規則

産業組合法施行規則

明治四十二年八月二十一日農商務省令第三十五號
改正大正六年十月二十七日農商務省令第三十號
改正大正十年七月二十日農商務省令第二十四號
改正大正十五年五月二十日農林省令第九號
改正昭和七年九月三十日農林省令第二十五號
改正昭和九年七月三十日農林省令第二十二號
改正昭和十一年七月二日農林省令第十二號
改正昭和十一年十一月七日農林省令第三十三號

第一條　信用組合ノ區域内ニ住居スル者ニ非サレハ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ豫約者ニ對スル貯金ノ拂戻ハ豫約ノ消滅シタルトキニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

豫約者ハ其ノ貯金カ現在組合員ノ出資一口ニ對スル拂込金額ノ最小額ト同額ニ達シタル後ニ非サレハ組合ニ加入スルコトヲ得ス

豫約者カ豫約後三箇年ヲ經過シ尚ホ組合員ト爲ルニ至ラサルトキハ組合ハ豫約ノ解除ヲ爲スヘシ

第一條ノ二　利用組合ハ定款ヲ以テ定ムルニ非サレハ組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ產業組合法第一條第八項ノ規定ニ依リ指定シタル設備ヲ利用セシムルコトヲ得ス

第一條ノ三　產業組合法第一條第七項ニ組合員タルコトヲ得サル者ト稱スルハ法令若ハ定款ノ規定ニ依リ又ハ出資ノ能力ナキ爲組合ニ加入スルコトヲ得サル者ヲ謂フ

第一條ノ四　產業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ノ設立ノ許可ヲ申請スル者ハ定款ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ提出スヘシ

一　申請ノ理由
二　設備ノ規模及其ノ能力
三　組合員ノ設備利用ノ程度
四　設備ニ關スル事業施行ノ方法
五　設備費
六　一事業年度ノ收支概算
七　組合員數、組合員戶數、區域內戶數及組合員タルコトヲ得サル者ニシテ設備ヲ利用シ得ルモノノ種類別數

組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ產業組合法第一條第八項ノ規定ニ依リ指定シタル設備ヲ利用セシムル爲定款ヲ變更セムトスル場合ニ於テハ認可申請書ニ前項第二號乃至第七號ニ揭クル事項ヲ記載シタル書類、財產目錄及貸借對照表ヲ添附スヘシ

組合合併ノ際定款ヲ以テ前項ノ事業ヲ行フ旨ヲ定メムトスル場合ニ於テハ其ノ認可申請書ニ第一項各號ニ揭クル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スヘシ

第一條ノ五　產業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ハ其ノ區域內ニ於ケル組合員タルコトヲ得ル者ノ三分ノ二以上ヲ組合員トスルモノニ限ル

第一條ノ六　組合員タルコトヲ得サル者ニシテ產業組合法第一條第八項ノ規定ニ依リ指定シタル設備ヲ利用シ得ルモノハ組合ノ區域內ニ居住スル者ニ限ル

但シ左ノ各號ニ揭クル者ハ此ノ限ニ在ラス

一　電氣設備ニ在リテハ組合ノ區域內ニ於テ家屋物件ヲ所有シ使用シ又ハ占有シ之カ爲其ノ設備ヲ利用スル必要アル者

二　其ノ他ノ設備ニ在リテハ前號ニ揭クル者及定款ヲ以テ規定シタル者

第三條ノ七　組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ設備ヲ利用セシムル場合ニ於ケル利用料ハ實費ヲ超ユルコトヲ得ス

第一條ノ八　產業組合法第六條ノ二ニ住宅ト稱スルハ主トシテ住居ノ用ニ供スル家屋及之ニ相應スル門、牆塀、物置、井戸其ノ他居住ノ爲必要ナル附屬設備ヲ謂フ

第一條ノ九　產業組合法第六條ノ二ノ規定ニ依リ地方稅ノ免除ヲ受クヘキ住宅又ハ住宅用地ハ左ノ制限ニ從フコトヲ要ス但シ產業組合ノ住宅ノ建設若ハ購入又ハ住宅用地ノ取得ニ付テハ此ノ限ニ在ラス、

一　住宅ハ一組合員ニ付一戸ニ限ル

二　前號ノ住宅ハ一戸ニ付家屋各階ノ床面積合計五十坪ヲ超ユルコトヲ得ス但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

三　住宅用地ハ住宅ニ相應スルモノナルコトヲ要ス

第一條ノ十　產業組合ノ組合員タルコトヲ得ル養蠶實行組合ハ部落其ノ他之ニ準スル區域ヲ其ノ地區トスルモノニ限ル

第一條ノ十一　部落其ノ他之ニ準スル區域ヲ其ノ區域トスル產業組合ハ地方長官ノ認可ヲ受ケテ他ノ產業組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得

部落其ノ他之ニ準スル區域ヲ其ノ地區トスル漁業組合又ハ負債整理組合ハ產業組合ノ組合員トナルコトヲ得

第一條ノ十二　農事實行組合、養蠶實行組合、漁業組合、負債整理組合又ハ產業組合カ產業組合ノ組合員ト爲リタルトキハ其ノ組合員名簿ヲ產業組合ニ提出スヘシ

前項ノ組合員名簿ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク產業組合ニ之ヲ通知スヘシ

第一條ノ十三　產業組合法第十條ノ三第五項ニ於テ行政官廳ト稱スルハ之ヲ地方長官トス

第一條ノ十四　產業組合法第十條ノ三第五項ノ規定ニ依ル農事實行組合ノ屆出アリタルトキハ地方長官ハ農事實行組合ノ名稱、事務所ノ所在地及設立ノ年月日ヲ告示スヘシ其ノ告示シタル事項ニ付變更ノ屆出アリタルトキ亦同シ

第二條　出資一口ノ金額ハ組合ニ在リテハ五十圓、聯合會ニ在リテハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二條ノ二　保證責任ノ組合又ハ聯合會ノ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會

ノ保證金額ハ其ノ出資額ヲ下ルコトヲ得ス

第三條　第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第四條　準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス

第五條　組合若ハ聯合會カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徵收シ又ハ新ニ出資口數ヲ增加スル者ヨリ增口金ヲ徵收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脫退シタル組合員又ハ組合若ハ聯合會ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ

第六條　總代會ハ組合ニ在リテハ五百人以上ノ組合員、聯合會ニ在リテハ百以上ノ所屬組合及所屬聯合會ヲ有スルニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス

總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款ニ總代ノ員數、任期及選擧ニ關スル規定ヲ設クヘシ

第七條　產業組合法第九十條ノ代表者ハ道府縣每ニ會員之ヲ選擧スヘシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ代表者ニ之ヲ準用ス

第八條　理事及監事ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ總代會ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

第九條　削除

第九條ノ二　產業組合法第一條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ受入及拂戻ニ付テハ組合員ノ貯金ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第九條ノ三　產業組合法第一條第七項ノ規定ニ依ル利用ニ付テハ組合員ノ利用ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第九條ノ四　登記又ハ組合原簿若ハ聯合會原簿ノ記載ニ關スル屆書ニハ理事又ハ淸算人署名捺印スヘシ

前項ノ屆書ニハ受附ノ年月日ヲ記載スヘシ地方長官ニ於テ受理シタル組合原簿及聯合會原簿ニ付亦同シ

第九條ノ五　地方長官ニ提出スル組合原簿、聯合會原簿又ハ其ノ記載事項ノ變更ノ屆書ニハ記載事項又ハ其ノ變更ニ付監事ノ證明書ヲ添附スヘシ但シ組合員ノ氏名又ハ住所ノ變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ產業組合法第八十七條第二項第三號ノ事項ノ變更ノ屆書ニ之ヲ準用ス

第九條ノ六　登記又ハ組合原簿若ハ聯合會原簿ノ記載ニ關スル屆書ニハ產業組

合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十條　理事ハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル後遲滯ナク產業組合法第三十條第二項ニ掲ゲタル書類ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農林大臣ニ差出スヘシ

第十一條　組合又ハ聯合會ノ事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　組合ニ在リテハ組合員ノ職業別ノ數竝出資口數ノ異動、聯合會ニ在リテハ所屬組合及所屬聯合會ノ種類別ノ數竝出資口數ノ異動

二　出資拂込ノ總額及剩餘金ヲ以テ出資ノ拂込ニ充テタルトキハ其ノ總額

三　損益ノ計算竝借入又ハ償還シタル金額及借入金ノ利率

三ノ二　準備金及各種ノ積立金

四　總會又ハ總代會ノ決議

五　事業ノ狀況

六　信用組合又ハ信用組合聯合會ニ在リテハ貸付シ又ハ償還ヲ受ケタル金額及件數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ヲ爲シタル組合又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ數竝貯金及貸付金ノ利率、產業組合法第一條第二項ノ豫約ヲ爲シタル信用組合ニ在リテハ豫約者ノ數及其ノ貯金額、販賣組合又ハ販賣組合聯合會ニ在リテハ受入又ハ販賣シタル物ノ種目別ノ數量及價額、購買組合又ハ購買組合聯合會ニ在リテハ買入若ハ生產又ハ賣却シタル物ノ種目別ノ數量及價額、利用組合又ハ利用組合聯合會ニ在リテハ利用ノ程度ヲ表示スヘキ事項

六ノ二　產業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ニ在リテハ其ノ貯金者ノ種類別數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ノ利率

六ノ三　產業組合法第一條第四項ノ信用組合ニ在リテハ手形ノ種類別割引枚數、金額及割引ノ步合、組合員及組合員外ノ職業別及金額別ノ貯金者數及貯金額、受入又ハ拂戻シタル組合員外ノ貯金額及貯金ノ利率、預入先別預入又ハ引出シタル金額及預入金ノ利率竝拂戻準備金ノ管理方法別ノ金額

六ノ四　信用組合聯合會ニ在リテハ產業組合法第七十六條ノ二第一項ノ規定ニ依リ爲シタル保證ノ金額

六ノ五　產業組合法第七十六條ノ三ノ信用組合聯合會ニ在リテハ手形ノ種類

別割引枚數、金額及割引ノ步合

七　産業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ニ在リテハ組合員タルコトヲ得サル者ノ利用ノ程度ヲ表示スヘキ事項

八　處務ノ要件

前項ノ規定ハ中央會ノ事業報告書ニ之ヲ準用ス

第十二條　組合、聯合會又ハ中央會カ借入金ヲ爲サムトスルトキハ毎事業年度總會又ハ總代會ニ於テ一事業年度ニ於ケル借入額ノ最高限度ヲ議決スヘシ

前項ノ規定ハ信用組合又ハ信用組合聯合會カ一事業年度ニ於ケル一組合員又ハ一所屬組合若ハ一所屬聯合會ニ對シテ爲ス貸付額又ハ手形ノ割引金額ノ最高限度ニ付之ヲ準用ス

理事ハ前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農林大臣ニ遲滯ナク報告スヘシ

第十二條ノ二　定款變更ノ認可申請書ニハ理由書及總會又ハ總代會ノ決議錄ヲ添附スヘシ

第十二條ノ三　理事又ハ監事ノ變更ノ屆書ニハ其ノ變更カ總會又ハ總代會ノ決

議ニ依ル場合ニ在リテハ其ノ決議錄、其ノ他ノ場合ニ在リテハ監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十二條ノ四　産業組合法第十六條ノ六第二項及第三項ノ規定ニ依リ無限責任組合ノ提出スル組合原簿ニハ總組合員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十三條　出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少ノ認可申請書ニハ第十二條ノ二ニ掲ケタル書類ノ外財産目錄及貸借對照表ヲ添附スヘシ

第十四條　剩餘金ノ配當ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業ノ分量又ハ拂込ミタル出資額ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業ノ分量ニ對シ配當スヘキ剩餘金ニシテ出資ノ拂込ニ充テサルモノハ拂込ミタル出資額カ出資總額ノ二分ノ一ニ滿タサル場合ニ限リ配當スヘキ剩餘金ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

拂込ミタル出資額ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六分ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ年一割迄之ヲ增加スルコトヲ得

第十四條ノ二　産業組合法第十六條ノ六第三項又ハ第五十八條第二項ノ場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請書ニハ總組合員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

産業組合法第五十八條第三項ノ場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請書ニハ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十四條ノ三　産業組合法第六十二條第一項第一號又ハ第四號ノ事由ニ因ル解散ノ屆書ニハ其ノ事由ヲ記載シ解散ノ當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十四條ノ四　總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ理由書、總會ノ決議錄、財産目錄及貸借對照表ヲ添附スヘシ

第十五條　合併ノ認可申請書ニハ第十三條ニ掲ケタル書類ノ外合併契約書及合併後存續スル組合若ハ聯合會又ハ合併ニ因リテ設立スル組合若ハ聯合會ノ定款並産業組合法第六十三條ノ二ノ場合ニ於テハ申請者カ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

産業組合法第六十二條第二項但書ノ規定ニ依ル合併ニ付テハ前項ニ掲ケタル書類ノ外組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十五條ノ二　組合又ハ聯合會ノ繼續ノ認可申請書ニハ組合ニ在リテハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ證スル書面ヲ、聯合會ニ在リテハ所屬組合及所屬聯合會ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十六條　組織變更ノ認可申請書ニハ組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附シ組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ責任ヲ減少スルトキハ尙ホ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十六條ノ二　産業組合法第五十八條第三項ノ規定ニ依ル定款變更ノ場合ニ於テ組合又ハ聯合會カ産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ踐ミタルトキハ之ヲ證スル書面ヲ添附シ遲滯ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第十七條　組合又ハ聯合會カ中央會ニ加入シ又ハ脫退シタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第十七條ノ二　第十二條ノ三ノ規定ハ淸算人ノ選任及其ノ變更ノ屆書ニ之ヲ準用ス

第十七條ノ三　第十條ノ規定ハ淸算人カ産業組合法第七十一條ノ規定ニ依ル承

認ヲ經タル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條ノ四　清算結了ノ屆書ニハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル決算報告書ヲ添附スヘシ

第十八條　北海道支廳長カ產業組合法第六十條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ハムトスルトキハ地方長官ノ指揮ヲ請フヘシ

第十九條　地方長官カ產業組合法第六十條又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ヒタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ農林大臣ニ報告スヘシ

第十九條ノ二　左ノ各號ノ一ニ該當スル組合又ハ聯合會設立許可ノ申請アリタルトキハ地方長官ハ其ノ處分ニ付豫メ農林大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

一　製絲ヲ爲シ又ハ製絲工場ヲ有スル組合又ハ聯合會

二　醫療設備ヲ有スル組合又ハ聯合會

三　區域カ郡、市又ハ市制第六條ノ市ノ區ノ區域ヲ超ユル組合

前項ノ規定ハ組合又ハ聯合會カ其ノ定款ヲ變更シテ同項各號ノ一ニ該當スル組合又ハ聯合會ト爲ル場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請ニ付之ヲ準用ス前項第三號ニ該當スル組合カ其ノ區域ヲ變更スル場合ニ於ケル定款變更ノ認可申

請ニ付亦同シ

第一項ノ規定ハ組合又ハ聯合會カ合併ニ因リ同項各號ノ一ニ該當スル組合又ハ聯合會ト爲ル場合ニ於ケル合併ノ認可申請ニ付之ヲ準用ス

第二十條　本則中農林大臣トアルハ大正六年勅令第二百號ニ依リ農林大臣及大藏大臣ノ所管ニ係ルモノニ付テハ農林大臣及大藏大臣トス本則中地方長官トアルハ區域カ道府縣ノ區域ヲ超ユル組合又ハ聯合會ニ在リテハ農林大臣トス

前項ノ組合又ハ聯合會ヨリ農林大臣ニ提出スヘキ書類ハ主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由スヘシ

附　則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則

本令ハ大正十五年法律第五十四號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ拂込ミタル出資額以外ノ持分ニ對シ剩餘金ノ配當ヲ行フ旨ヲ定款ヲ以テ定メタル組合又ハ聯合會ノ剩餘金ノ配當ニ付テハ大正十五年十二月三十一日迄仍從前ノ例ニ依ル

前項ノ組合又ハ聯合會前項ノ期日迄ニ地方長官ノ許可ヲ受ケタル時ハ剩餘金ノ配當ニ付昭和七年七月三十一日迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和七年法律第三十號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年法律第三十號施行前ニ設立シタル養蠶實行組合ハ同法施行前ニ加入シタル組合員ノ全員ノ同意アルニ非サレハ產業組合ノ組合員タルコトヲ得ス

第二條ノ二ノ規定ハ當分ノ內本令施行ノ際現ニ存スル保證責任ノ組合又ハ聯合會ニ付テハ之ヲ適用セス

第十六條ノ規定ハ昭和七年法律第三十號附則第三條ノ規定ニ依ル組合又ハ聯合會ノ組織變更ノ認可申請書ニ付テハ之ヲ適用セス

附　則

本令ハ昭和九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス　（昭和九年農林省令第二十二號）

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス　（昭和十一年農林省令第十二號）

（註、昭和十一年七月二日公布）

附　則

本令ハ昭和十一年法律第十號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス　（昭和十一年農林省令第三十三號）

（註、昭和十一年法律第十號ハ昭和十一年十一月十日ヨリ施行）

産業組合法施行細則

産業組合法施行細則

昭和十一年十二月五日石川縣令第三十號

第一章　許可認可

第一條　産業組合(以下單ニ組合ト稱ス)又ハ産業組合聯合會(以下單ニ聯合會ト稱ス)ノ設立許可申請書ニハ組合ニ在リテハ設立者ノ住所、職業、氏名及出資スベキ口數ヲ聯合會ニ在リテハ設立者タル組合又ハ聯合會ノ名稱、事務所所在地及出資スベキ口數ヲ記載スベシ

第二條　組合又ハ聯合會ノ設立許可申請書若ハ合併ニ因ル設立認可申請書ニ添附スベキ定款ハ組合ニ在リテハ二通、聯合會ニ在リテハ三通トス、但シ産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル組合及其ノ貯金ヲ取扱フ聯合會ニ在リテハ四通、同法第一條第七項ノ規定ニ依ル組合ニ在リテハ三通、聯合會ニ在リテハ四通、同法施行規則第十九條ノ二第一項各號ノ規定ニ該當スル組合ニ在リテハ三通、聯合會ニ在リテハ四通トス

第三條　組合又ハ聯合會ノ定款中左ニ掲クル事項ヲ規定シタルトキハ其ノ理由

書ヲ設立許可申請書又ハ合併ニ因ル設立認可申請書若ハ定款變更認可申請書ニ添附スベシ

一　出資一口ノ金額ガ組合ニ在リテハ五十圓聯合會ニ在リテハ五百圓ヲ超ユルトキ

二　一組合員ノ有スヘキ出資口數三十口聯合會ノ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ出資口數百口ヲ超ユルトキ

三　拂込ミタル出資額ニ對スル剩餘金配當ノ率ガ年六分ヲ超ユルトキ

四　事業年度ガ曆年ニ依ラザルトキ

五　信用組合ノ區域ガ一市町村ニ依ラサルトキ及聯合會ノ區域ガ他縣ニ跨ルトキ

六　事務所ヲ區域外ニ設置セントスルトキ

七　總代會ヲ設クルトキ

第四條　産業組合法施行規則第一條ノ四ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ハ二通トス

第五條　産業組合法施行規則第十九條ノ二第一項各號ノ一ニ該當スル組合又ハ聯合會ヲ設立セムトスルトキハ申請書ニハ定款ノ外左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書類二通ヲ添附スベシ

一　製絲ヲ爲シ又ハ製絲工場ヲ有スル組合又ハ聯合會ニ在リテハ左ノ事項ヲ記載シタル書類

イ　製絲業法施行規則第四條第一項第一號第二號及第五號ニ掲グル事項

ロ　組合員數(聯合會ニ在リテハ所屬組合數)及其ノ出資口數

三　ハ　區域內ニ於ケル養蠶戶數及上繭産額並ニ組合員(聯合會ニ在リテハ所屬組合ノ組合員)中養蠶者數及其ノ上繭蠶額

ニ　繰絲機百五十釜未滿ノ設備ヲ爲サントスルモノニ在リテハ百五十釜以上ト爲シ得ザル特別ノ事由

二　醫療設備ヲ有スル組合又ハ聯合會ニ在リテハ左ノ事項ヲ記載シタル書類

イ　區域內ニ於ケル總戶數、組合員數(聯合會ニ在リテハ所屬組合數)及出資口數

ロ　醫療設備ノ概要

敷地ノ面積

建物ノ種別、階數及面積
配置及附近略圖
患者ヲ收容スルモノニ在リテハ其ノ收容定員其ノ他參考トナルベキ事項
ハ　醫師ノ數、經歷、診療分擔科名及診療ニ從事スル條件
ニ　調劑員、看護員其ノ他ノ診療介助者ノ男女別數及介助ノ內容則
ホ　醫療事業ニ關スル起業費ノ收支概算並ニ事業ノ收支概算
ヘ　診療ニ關スル規程
ト　區域內ニ於ケル診療科別開業醫師數
三　區域カ郡又ハ市ノ區域ヲ超ユル組合ニ在リテハ左ノ事項ヲ記載シタル書類
イ　郡市ノ區域ヲ超ユル區域ヲ必要トスル理由
ロ　組合員數及其ノ分布狀態並ニ出資口數
ハ　事業計畫及事業執行ノ方法
ニ　區域內ニ於テ同種事業ヲ營ム組合アラバ其ノ區域及事業トノ關係
●産業組合法施行規則第十九條ノ二第二項及第三項ノ規定ニ依ル認可申請書ニ

●ハ前項ノ書類ノ外最近ニ於ケル財産目錄、貸借對照表及事業報告書各二通ヲ添附スベシ

第六條　産業組合法第六十二條ノ二ノ規定ニ依ル繼續認可申請書ニハ産業組合法施行規則第十五條ノ二ニ規定セル書類ノ外繼續ヲ必要トスル事由書並ニ最近ニ於ケル財産目錄、貸借對照表及事業報告書ヲ添附スベシ

第七條　産業組合法施行規則第一條ノ十一ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ事由書並ニ最近ニ於ケル財産目錄、貸借對照表及事業報告書ヲ添附スベシ

第八條　合併認可申請書ニハ産業組合法施行規則第十五條ノ規定ニ依ル書類二通ヲ添附スベシ

第九條　定款變更認可申請書ニハ産業組合法施行規則第十二條ノ二ニ規定セル書類ノ外變更セントスル定款ノ抄本ヲ添附スベシ但シ目的變更ニ因ル定款變更認可申請書ニハ定款ノ謄本ヲ添附スベシ

第二條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ定款變更認可申請書ニ添附スベキ定款ノ抄本又ハ謄本ノ數ニ付之ヲ準用ス

第十條　産業組合法第九條第一項第一號乃至第五號及第十二號ノ事項ニ關スル

定款變更認可申請書若ハ解散認可申請書ニ添附スベキ總會又ハ總代會ノ決議錄ハ二通トス

解散認可申請書ニハ産業組合法施行規則第十四條ノ四ニ依ル書類ノ外政府ノ融通スル借入金ヲ有スル者ハ各資金別ニ未償還金額及解散後ニ於ケル償還ノ方法ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

第十一條　産業組合法第八十條第一項但書ノ規定ニ依ル理事又ハ監事ノ選任ノ認可申請書ニハ其ノ選任シタル事由ヲ具シ本人ノ履歴書ヲ添附スベシ

第一一章　登　記

第十二條　産業組合法ニ依ル登記ニ關スル屆書並ニ其ノ添附書類及組合原簿ハ二通ヲ提出スベシ

管轄登記所ヲ異ニスル二箇所以上ノ事務所ヲ有スル組合又ハ聯合會ニ在リテハ前項ノ屆書及添附書類ハ事務所一箇所毎ニ仍各一通ヲ差出スベシ

第三章　總會又ハ總代會

第十三條　總會又ハ總代會ノ決議錄ニハ少クトモ左ノ事項ヲ記載シ定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ作成スベシ

一　招集通知ノ年月日
二　開會ノ年月日及時刻
三　開會ノ場所
四　組合員、所屬組合、所屬聯合會又ハ總代ノ數
五　現ニ出席シタル組合員、所屬組合、所屬聯合會又ハ總代ノ數
六　議決權ノ代理ヲ委任シタル組合員、所屬組合、所屬聯合會又ハ總代ノ數
七　議事ノ要領及結果
八　閉會ノ年月日及時刻
九　決議錄署名者ノ署名又ハ記名捺印

第四章　報　告

第十四條　組合又ハ聯合會ハ總會若ハ總代會ヲ開會シタルトキハ遲滯ナク決議錄謄本ヲ添ヘ知事ニ報告スベシ

第十五條　組合又ハ聯合會ハ定款所定ノ時期ニ通常總會又ハ通常總代會ヲ開會スルコト能ハザルトキハ豫メ其ノ事由ヲ具シ知事ニ報告スベシ

第十六條　組合又ハ聯合會カ訴訟ノ當事者トナリタル場合又ハ其ノ惧アルトキ

ハ事由ヲ具シ遅滯ナク知事ニ報告スヘシ

前項ノ訴訟ニ關シ判決アリタルトキハ其ノ判決ノ謄本和解成立シタルトキハ和解ニ關スル書類ノ謄本ヲ具シ知事ニ報告スヘシ

第十七條　組合又ハ聯合會設立許可ヲ受ケタル後二箇月ヲ經ルモ尚出資第一回ノ拂込ヲ了セザルトキハ遅滯ナク其ノ事由ヲ知事ニ報告スヘシ

第十八條　組合又ハ聯合會カ解散後一年ニ至ルモ尚清算結了セザルトキハ其ノ事由ヲ知事ニ報告スベシ

前項ノ場合ニ於テハ清算結了迄三箇月毎ニ其ノ經過ヲ報告スベシ

第十九條　組合長又ハ會長、專務理事及事務員ノ異動アリタルトキハ氏名、生年月日、職業並ニ履歴ノ概要ヲ知事ニ報告スベシ

第二十條　組合長又ハ會長、專務理事更迭シタルトキハ引繼書ヲ作成ノ上署名捺印スベシ

前項ノ引繼ヲ了シタルトキハ十日以内ニ其ノ謄本ヲ添ヘ知事ニ報告スベシ

第二十一條　組合又ハ聯合會ハ第三十一號樣式ニ準シ毎月末現在ノ合計殘高試算表ヲ作成シ翌月十日迄ニ知事ニ報告スベシ

第二十二條　產業組合法第三十條第一項ノ書類ハ第三十二號樣式ニ準ジ作成シ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル後遅滯ナク知事ニ差出スベシ

前項ノ書類ハ產業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル組合及其ノ貯金ヲ取扱フ聯合會ニ在リテハ三通其ノ他ノ聯合會ニ在リテハ二通トス

第五章　帳簿

第二十三條　產業組合法第二十九條ニ依ル組合員名簿ハ第一號樣式ニ準ジ之ヲ作成スベシ

第二十四條　組合又ハ聯合會ハ第二號樣式乃至第三十號樣式ニ準ジタル帳簿ヲ備ヘ事件發生ノ都度之ヲ當該帳簿ニ記載スヘシ

一　各種組合

日記帳　（第二號樣式）

元帳　（第三號樣式）

持分臺帳　（第四號樣式）

備品臺帳　（第五號樣式）

土地臺帳　（第六號樣式）

建物臺帳（第七號樣式）
有價證券臺帳（第八號樣式）
當座預金臺帳（第九號樣式）
借入金臺帳（第十號樣式）

二　信用組合

貸付金臺帳（第十一號樣式）
年賦貸付金臺帳（第十二號樣式）
割引手形臺帳（第十三號樣式）

産業組合法第一條第四項ノ事業ヲ行フ組合及同法第七十六條ノ三ニ依リ手形割引ヲ行フ聯合會

貸付金名寄帳（第十四號樣式）
當座貯金貸越臺帳（第十五號樣式）
當座貯金臺帳（第十六號樣式）
特別當座貯金臺帳（第十七號樣式）
定期貯金臺帳（第十八號樣式）

定額貯金臺帳（第十九號樣式）

三　販賣組合

販賣代金精算臺帳（第二十號樣式）
販賣品賣渡臺帳（第二十一號樣式）
販賣品受拂臺帳（第二十二號樣式）
假渡金臺帳（第二十三號樣式）
物品加工臺帳（第二十六號樣式）
加工品受拂臺帳（第二十八號樣式）

四　購買組合

購買品買入臺帳（第二十四號樣式）
購買品賣却臺帳（第二十五號樣式）
物品加工臺帳（第二十六號樣式）
購買品受拂臺帳（第二十七號樣式）
加工品受拂臺帳（第二十八號樣式）

五　利用組合

五　利用臺帳　（第二十九號樣式）
　　利用整理臺帳　（第三十號樣式）

第六章　監　査

第二十五條　組合又ハ聯合會ニハ監査規程ヲ設クベシ
監事ハ一事業年度内少クトモ四回以上監査ヲ行ヒ其ノ結果ヲ記載シタル監査調書ヲ作成シ主タル事務所ニ備ヘ置クベシ
監事監査ヲ爲シタルトキハ其ノ顚末ヲ終了後二週間以内ニ知事ニ報告スベシ

第七章　書類經由其ノ他

第二十六條　組合又ハ聯合會ヨリ提出スベキ書類ハ主タル事務所所在地ノ市町村長ヲ經由スベシ但シ登記ニ關スル屆書及組合原簿ハ之ヲ直接知事ニ提出スルコトヲ要ス
第二十七條　組合又ハ聯合會ノ事務所ニハ其ノ名稱ヲ表示スベキ標札ヲ掲クベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（第一號樣式）

組合員名簿

氏名

住所	職業	加入年月日
		年　月　日

年月日	摘要	出資口數 取得	出資口數 讓渡	出資口數 現在	出資額	出資拂込額 拂込	出資拂込額 讓渡	出資拂込額 現在	未拂込出資額	保證金額

（第二號樣式）

日記帳

年月日	科目	元丁	摘要	受入	支拂	現金殘高

(第三號樣式)

元帳

年月日	摘要	日丁	受入	支拂	受又ハ拂	殘高

(第四號樣式)

持分臺帳

(標準算出表)

年度別	財産		標準		標準額一円ニ對スル持分
	科目	金額	科目	金額	
	出資金				
	準備金				
	何々				

持分臺帳

氏名

年度別	出資金			準備金			何々			持分合計額
	標準額	按分額	累計額	標準額	按分額	累計額	標準額	按分額	累計額	

(第五號樣式)

備品臺帳

品名

年月日	番號	摘要	數量			取得價額	償却	處分價額	現在
			受	拂	殘				

(第六號樣式)

土地臺帳

地目

年月日	摘要	地名番地	面積	取得價額	異動價額	現在價額

(第七號樣式)

建物臺帳

名稱

所在地					
構造		坪數			
年月日	摘要	取得價額	異動價額	現在價額	

(第八號樣式)

有價證券臺帳

種類

年月日	摘要	番號	買入金額	異動金額	現在額面	現在金額	平均單價

(第九號樣式)

當座預金臺帳

利率　　借越限度

擔保　　取引先　　契約期限　年月日

年月日	摘要	小切手番號	預入	拂出	預又ハ借	殘高

(第十號樣式)

借入金臺帳

借入先

償還方法		期間		利率	
利息支拂方法		保證人又ハ擔保			

年月日	摘要	借入	償還	殘高	支拂利息	備考

(第十一號樣式)

貸付金臺帳

證書第　號

借主

用途		利率		償還方法		期限		保證人又ハ擔保	

年月日	摘要	貸付	償還	殘高	日數	積數	利息	收入利息 金額	年月日	備考

(第十二號樣式)

年賦貸付金臺帳

證書第　號　借主

貸付金額	圓	貸付年月日 償還年月日	年　月　日 年　月　日
毎回償還額 償還方法	圓	利率 用途	分　厘
保證人又ハ擔保			

年月日	摘要	元金償還額	元金殘額	受入利息額	備考

(第十三號樣式)

割引手形臺帳

年月日	手形種類	割引依頼人	拂入人	擔保品 品目	數量	價額	手形番號	手形期日	滿期日	割引料 日數	歩合	金額	支拂所	手形金額	顚末 摘要	年月日

（第十四號樣式）

貸付金名寄帳

變更年度	信用程度

借主

年月日	期限	用途	證書類種	保證人又ハ擔保	當初貸付額	償還額	現在貸付額	未收利息額	收入額	現在利息未收額

（第十五號樣式）

當座貯金貸越臺帳

貸越極度

契約期限　年月日

契約者

保證人又ハ擔保

利率	年月日	貯金	貸越

年月日	摘要	小切手番號	受入	支拂	預リ又ハ貸	殘高	日數	貯金 可差引	貯金 積數	貯金 利息	貸越 增補	貸越 積數	貸越 利息

（第十六號樣式）

當座貯金臺帳

通帳番號

利　率　　氏名

年月日	摘要	小切手番號	受入	拂戻	殘高	日數	積數	利息

（第十七號樣式）

特別當座貯金臺帳

通帳番號

利　率　　氏名

年月日	摘要	受入	拂戻	殘高	日數	積數	利息

(第二十號樣式)

販賣代金精算臺帳

氏名

年月日	摘要	受入數量	販賣數量	殘高	販賣額 單價	販賣額 總額	控除金 賒賣金	控除金 同利息	控除金 歩合金	控除金 諸掛	控除金 計	差引精算額	精算年月日

(第二十一號樣式)

販賣品賣渡臺帳

販賣先

年月日	摘要	數量	價額 單價	價額 總額	收入額	未收額	延納利息 收入月日	延納利息 金額

(第十八號樣式)

定期貯金臺帳

年月日	證書番號	氏名	金額	期間	期限	利息 利率	利息 金額	元利支拂 年月日	備考

(第十九號樣式)

定額貯金臺帳

證書番號　　氏名

契約期間	滿　年	滿期拂戻 契約額	圓	每月掛金	滿期日

回數	年月日	摘要	受入	殘高	給付備金

（第二十二號樣式）

販賣品受拂臺帳

品名　　（受託）

年月日	摘要	數量 受入	數量 販賣	數量 殘高	販賣價額

（第二十三號樣式）

假渡金臺帳

氏名

年月日	摘要	品目	數量	金額	振替金額	現在額	利息 期間	利息 金額

（第二十四號樣式）

購買品買入臺帳

買入先

年月日	摘要	數量	價額 單價	價額 總額	支拂額	未拂額

（第二十五號樣式）

購買品賣却臺帳

氏名

年月日	摘要	數量	賣却 單價	賣却 價額	收入額	未收額	延納利息 總額	延納利息 收入額	延納利息 收入月日	延納利息 未收額

（第二十六號樣式）

物品加工臺帳

品名　　（販賣品 購買品）

年月日	摘要	受入				加工使用原料				減耗數量	加工成品			
		品種	數量	單價	金額	品種	數量	單價	金額		品種	數量	單價	金額

（第二十七號樣式）

購買品受拂臺帳

品名

年月日	摘要	仕入					賣却			殘高			
		數量	單價	金額	諸掛	計	數量	單價	金額	殘品數量	賣買差額	殘品原價 平均單價	殘品原價 金額

（第二十八號樣式）

加工品受拂臺帳

品名　　（販賣品 購買品）

年月日	摘要	加工成品			賣却			殘高			
		數量	單價	金額	數量	單價	金額	殘高數量	賣買差額	殘品原價 平均單價	殘品原價 金額

（第二十九號樣式）

利用臺帳

名稱

年月日	摘要	貸付	返付	殘高	期間	功程	利用料		
							金額	收入額	收入月日

（第三十號様式）

利用整理臺帳

組合員＿＿＿＿

年月日	摘要	利用程度	利用料	収入額	未収額	備考

有價證券利息	
賣却代延納利息	
販賣歩合金	
利用料	
系統機關配當金入	
雜收	
貯金利息	
借入金利息	
役員報酬	
諸給料	
通信費	
消耗品費	
會議費	
中支會費	
雜費	
繰越金	
現金	
合計	

（五）購買高調（賣却）

品目	金額
肥料	円
飼料	
其ノ他	
合計	

肥料ノ總仕入高	円
內系統機關ヨリノ仕入高	

註．上表中(四)，(五)ハ事業年度ノ如何ニ拘ラズ一月一日ヨリノ取扱高累計ヲ記入ノコト

表記ノ通相違無之コトヲ證明候也　昭和　年　月　日　監事

（第三十一號樣式）

昭和　年　月　日現在試算表　責任　信用販賣購買利用組合

借方 殘高	借方 合計	勘定科目	貸方 合計	貸方 殘高
		出資金		
		拂込未濟出資金		
		中央金庫出資金		
		中央金庫未濟出資金		
		縣信聯出資金		
		縣信聯未濟出資金		
		縣販購聯出資金		
		縣販購聯未濟出資金		
		全購聯出資金		
		全購聯未濟出資金		
		準備金		
		特別積立金		
		土地		
		建物		
		備品		
		預金		
		有價證券		
		借入金		
		組合員當座貯金		
		組合員特別當座貯金		
		家族特別當座貯金		
		團體特別當座貯金		
		組合員定期貯金		
		家族定期貯金		
		團體定期貯金		
		組合員据置貯金		
		家族据置貯金		
		團體据置貯金		
		販賣品		
		未拂販賣代		
		未收販賣代		
		販賣假渡金		
		購買品		
		未拂購買代		
		未收賣却代		
		未拂利息		
		貸付金利息		
		預金利息		
		有價證券利息		
		賣却代延納利息		
		販賣歩合金		
		利用料		
		系統機關配當金		
		雜收入		
		貯金利息		
		借入金利息		
		役員報酬		
		諸給料		
		通信費		
		消耗品費		
		會議費		
		中支會費		
		雜費		
		繰越金		
		現金		
		合計		

（一）

區域內總戶數		
總組合員數		
內法人數		
內譯	農事實行組合	
	養蠶實行組合	
	合計	

（二）職業別組合員數調

農業	
林業	
商業	
工業	
水產業	
其ノ他	
法人	
合計	

（三）

貯金總額		円
貸出金總額		
預金	總額	
	系統機關預入高	
借入金	總額	
	系統機關借入高	

（四）販賣高調

品目	數量	金額
米		円
合計		

上表中米ノ系統機關ヘノ販賣高

石 斗	円

（五）購買高調（賣却）

品目	金額
肥料	円
飼料	
其ノ他	
合計	

肥料ノ總仕入高	円
內系統機關ヨリノ仕入高	

註．上表中(四)，(五)ハ事業年度ノ如何ニ拘ラズ一月一日ヨリノ取扱高累計ヲ記入ノコト．

表記ノ通相違無之コトヲ證明候也　昭和　年　月　日監事

（第三十二號樣式）

甲第　年度財產目錄（昭和　年度）

資產

（各種組合）

種目	摘要	金額
拂込未濟出資金	口	円
土地		
事務所敷地	地目	
內譯 倉庫敷地	地目	
	筆數	
	筆數	
	面積	
	面積 坪	
建物		
內譯 事務所	棟數	
	建坪	
內譯 倉庫	棟數	
	建坪	
機械器具	點	
備品		
系統機關出資金	口	
內譯 產業組合中央金庫	口	
內譯 全國購買組合聯合會	口	
內譯 石川縣信用組合聯合會	口	
內譯 石川縣販賣購買利用組合聯合會	口	

種目	摘要	金額
預金		
内譯		
當座預金	件	
定期預金	件	
據置預金	件	
有價證券		
内譯		
出資總額	枚	
貸付金	枚	
賦課金	枚	
貸付金	枚	
貸付金	件	
貸付金	件	
内譯		
當座貸越	件	
定期手形貸付金	枚	
定期證書貸付金	件	
販賣假渡金		
未收販賣代金	件	
購買品	點	
未收賣却代金	件	
未收利用料		
現金		
合計		

種目	摘要	金額
拂込未濟系統機關出資金		
拂込未濟産業組合中央金庫出資金	口	円
拂込未濟全國購買組合聯合會出資金	口	
拂込未濟石川縣信用組合聯合會出資金	口	
拂込未濟石川縣販賣購買利用組合聯合會出資金	口	
貯金		
内譯		
組合員貯金	人	
産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金	人	
加入豫約者貯金	人	
内譯		
團體數	團體	
借入金		
内譯		
當座借越	件	
定期手形借入金	枚	
定期證書借入金	件	
年賦借入金	件	
總額	件	
未拂購買代金		
未拂利息		
貯金利息支拂備金		

未經過利息		件
合計		

差引金

乙第　年度貸借對照表（昭和　年度）

（各種組合）

貸方 種目	金額	借方 種目	金額
拂込未濟出資金	円	出資金	円
土地		準備金	
建物		特別積立金	
機械器具			
備品			
系統機關出資金		拂込未濟系統機關出資金	
預貯金		貯金總額	
有價證券		内譯 据置貯金	
貸出金總額		内譯 當座貯金	
内譯 年賦貸付金		内譯 特別當座貯金	
内譯 定期 證書貸付金		内譯 定期貯金	
内譯 定期 手形貸付金			
當座貸越金		借入金總額	
販賣假渡金		内譯 年賦借入金	
未收販賣代金		内譯 定期 證書借入金	
購買品		内譯 定期 手形借入金	
未收賣却代金		内譯 當座借越金	
未收利用料		未拂購買代金	
		未拂利息	
		貯金利息支拂備金	
		未經過利息	
現金			
（損失金）		本年度剩餘金	
合計		合計	

丙第　年度事業報告書（昭和　年度）

（組合各種）

一　組合員數及出資口數

職業別	前年度末現在 組合員數	前年度末現在 出資口數	本年度加入及脫退 加入員數	本年度加入及脫退 脫退員數	本年度末現在 組合員數	本年度末現在 出資口數
農業	人	口	人	口	人	口

林業	工業	商業	水産業	其ノ他	小計	法人	合計

備考

一、出資一口ノ金額　　圓

二、保證責任組合ノ保證金總額　　圓

出資一口ニ付　金　　圓

三、加入豫約者ヨリ加入シタル者ノ職業別數

農業　人　林業　人　工業　人　商業　人

水産業　人　其ノ他　人　合計　人

四、區域內現在戶數　戶

五、區域內加入有資格者中未加入者數　人

二　組合員タル法人數及出資口數　（各種組合）

法人別	前年度末現在				本年度末現在			
	法人數	出資口數	組合員數		法人數	出資口數	組合員數	
			總數	內本産業組合未加入者數			總數	內本産業組合未加入者數
農事實行組合		口	人	人		口	人	人
養蠶實行組合								
産業組合								
漁業組合								
負債整理組合								
合計								

備考

一、區域內加入有資格法人中未加入法人數

農事實行組合	組合	養蠶實行組合	組合		
產業組合	組合	漁業組合	組合		
負債整理組合	組合	合計	組合		

三 出資拂込

(各種組合)

區別	前年度末現在	本年度拂込高	本年度拂戻高	本年度末現在
各自拂込	円	円	円	円
剩餘金ヨリノ拂込				
合計				

四 準備金及各種積立金

(各種組合)

區別	前年度末現在	本年度積立	本年度處分	本年度末現在
準備金	円	円	円	円
特別積立金				
合計				

備考

一、「準備金」欄本年度積立及處分內譯左ノ如シ

本年度積立

前年度(昭和　年度)剩餘金處分ニ依ル積立高　圓　錢　厘

加入金　圓　錢　厘

增口金　圓　錢　厘

過怠金　圓　錢　厘

脫退者ニ拂戻ヲ爲サヽル持分額　圓　錢　厘

合計	圓	錢 厘
本年度處分	圓	錢 厘
持分拂戻額	圓	錢 厘
損失補塡額	圓	錢 厘
合計	圓	錢 厘

二、「特別積立金」欄本年度積立及處分內譯左ノ如シ

本年度積立	圓	錢 厘
前年度(昭和　年度)剩餘金處分ニ依ル積立高	圓	錢 厘
合計	圓	錢 厘
本年度處分	圓	錢 厘
合計	圓	錢 厘
	圓	錢 厘
	圓	錢 厘
	圓	錢 厘
	圓	錢 厘
	圓	錢 厘

五、借入金

(一) 借入金(手形ノ再割引ヲ除ク)及其ノ償還　(各種組合)

借入先並借入金種別	前年度末現在	本年度借入	本年度償還	本年度末現在	利率
系統機關					
產業組合中央金庫					
年賦借入金	円	円	円	円	年分厘
定證書借入金					年
期手形借入金					年
當座借越金					年
小計					平均
信用組合聯合會					
年賦借入金					年
定證書借入金					年
期手形借入金					年
當座借越金					年
小計					平均
小計					
年賦借入金					年
定證書借入金					年
期手形借入金					年
當座借越金					年
小計					平均
年賦借入金					年
定證書借入金					年

銀行																	
銀行			銀行					銀行					小計				
期手形借入金	當座借越金	小計	年賦借入金	定證書借入金	期手形借入金	當座借越金	小計	年賦借入金	定證書借入金	期手形借入金	當座借越金	小計	年賦借入金	定證書借入金	期手形借入金	當座借越金	
年	年	平均	年	年	年	年	平均	年	年	年	年	平均	年	年	年	年	

小計	其ノ他														
						小計					總計				
小計	年賦借入金	定證書借入金	期手形借入金	當座借越金	小計	年賦借入金	定證書借入金	期手形借入金	當座借越金	合計	年賦借入金	定證書借入金	期手形借入金	當座借越金	總計
平均	年	年	年	年	平均	年	年	年	年	平均	年	年	年	年	平均

備考

一、借入最高限度　　　　　　　　圓

二、政府ノ供給セル低利資金ノ本年度末現在高　　圓　錢（件數　　）

(二) 年度內借入金利率

(各種組合)

區別	借入金利率
最高	割
普通	
最低	

(三) 手形ノ再割引及其ノ決濟 (産業組合法第一條第四項ノ信用組合)

再割引先	前年度末現在	本年度再割引	本年度決濟	本年度末現在	割引歩合
産業組合中央金庫	円	円	円	円	分 厘
信用組合聯合會					
統系機關 小計					平均
銀行					年
銀行					年
銀行					年

六 餘裕金

(各種組合)

(一) 餘裕金總額

種目	前年度末現在	本年度預入買入	本年度引出處分	本年度末現在	利率
預金	円	円	円	円	年 分 厘
有價證券					年
現金					
合計					

行	
小計	
其ノ他	
小計	
合計	

(二) 預金運用状況 (各種組合)

預入先並預金種別			前年度末現在	本年度預入	本年度引出	本年度末現在	利率
			円	円	円	円	分 厘
系統機關	産業組合中央金庫	据置預金					
		定期預金					
		當座預金					
		小計					
	信用組合聯合會	据置預金					
		定期預金					
		當座預金					
		小計					
	小計	据置預金					
		定期預金					
		當座預金					
		合計					
銀行	銀行	据置預金					
		定期預金					
		當座預金					
		小計					
	銀行	据置預金					
		定期預金					
		當座預金					
		小計					
	銀行	据置預金					
		定期預金					
		當座預金					
		小計					
	小計	据置預金					
		定期預金					
		當座預金					
		合計					
其ノ他		据置預金					
		定期預金					
		當座預金					
		小計					
		据置預金					
		定期預金					
		當座預金					
		小計					
	小計	据置預金					
		定期預金					
		當座預金					
		合計					

合計	据置預金								
	定期預金								
	當座預金								
	總計								

備考

一、預金證書ヲ擔保ニ供セルモノ左ノ如シ

預入先並預金種別	預金額	差入先
	円	
合計		

二、預金中產業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金トシテ管理セルモノ左ノ如シ（產業組合法第一條第四項ノ信用組合）

預入先並預金種別	預金額
	円
產業組合中央金庫預金	
信用組合聯合會預金	
郵便貯金	
合計	

三、右ノ外預金證書ヲ組合ニ保管セザルモノ左ノ如シ

預入先並預金種別	預金額	事由
	円	
合計		

（三）信託預金（產業組合法第一條第四項ノ信用組合）

預入先種別	前年度末現在	本年度預入	本年度引出	本年度末現在	利率
合計					

備考

一、年度內利率　最高　割　分　厘　普通　割　分　厘　最低　割　分　厘

（三）年度內預金利率

（各種組合）

區別	利率
最高	割
普通	
最低	

（四）有價證券

（各種組合）

種類	前年度末現在	本年度買入	本年度處分 償却又ハ償還	本年度處分 枚數	本年度處分 券面總額	本年度處分 利率	本年度處分 價額 單價	本年度處分 價額 總額	產業債券
國債	円	円	円		円		円	円	債
國債									債
國債									債
國債									債
小計									債
地方債證券									債
地方債證券									債
地方債證券									債
地方債證券									債
小計									債

合計	其ノ他							
	小計				農工債券	復興貯蓄債券	勸業債券
價賣	價賣	價賣	價賣	價賣	價賣	價賣	價賣	價賣

備考

一、有價證券ヲ擔保ニ供セルモノ左ノ如シ

銘柄	枚數	券面總額	價額	差入先
		円	円	

二、有價證券中産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金トシテ管理セルモノ左ノ如シ(産業組合法第一條第四項ノ信用組合)

銘柄	枚數	券面總額	價額	供託又ハ保管
		円	円	

三、右ノ外現物ヲ組合ニ保管セザルモノ次ノ如シ

銘柄	枚數	券面總額	價額	事由
		円	円	

七　貸出金

（一）貸付金（手形ノ割引ヲ除ク）及其ノ償還　（信用組合）

種別		前年度末現在 金額	前年度末現在 件數	本年度貸付 金額	本年度貸付 件數	本年度償還 金額	本年度償還 件數	本年度末現在 金額	本年度末現在 件數	利率
年賦貸付金	無擔保	円	件	円	件	円	全部償還　件 一部償還（　）	円	件	年　分　厘
	有擔保						同（　） 同（　）			年
	小計						同（　） 同（　）			平均
	（内法人ノ分）						同（　） 同（　）			年
證書貸付金	無擔保						同（　） 同（　）			年
	有擔保						同（　） 同（　）			年
	小計						同（　） 同（　）			平均
	（内法人ノ分）						同（　） 同（　）			年
手形貸付金	無擔保						同（　） 同（　）			年
	有擔保						同（　） 同（　）			年
	小計						同（　） 同（　）			平均
	（内法人ノ分）						同（　） 同（　）			年
小計	無擔保						同（　） 同（　）			年
	有擔保						同（　） 同（　）			年
	合計						同（　） 同（　）			平均
	（内法人ノ分）						同（　） 同（　）			年
當座貸越金	無擔保						同（　） 同（　）			年
	有擔保						同（　） 同（　）			年
	小計						同（　） 同（　）			平均
	（内法人ノ分）						同（　） 同（　）			年
合	無擔保						同（　） 同（　）			年

計			
有擔保	同	同	年
總計	同	同	平均
(內法人ノ分)	同	同	年

備考

一、脫退者ニ對スル貸付金ニシテ未ダ償還ヲ受ケザルモノ

貸付金額　　圓　　錢(件數)

二、本年度中償却セル貸付金左ノ如シ

種別	金額	件數	償却セル事由
	円		

(二) 年度內擔保別貸付金

(信用組合)

種類	金額	件數	利率	備考
土地	円	件	年分厘	

建物	年		
土地建物	年		
有價證券	年		
其ノ他	年		
小計	年		
合計	平均		

(三) 年度內用途別貸付金

(信用組合)

區別	金額	件數	區別	金額	件數
產業用	円		經濟用	円	
小計			小計		

合計			

(四) 年度末現在職業者別貸付金

(信用組合)

區別	人員	金額
農業	人	円
林業		
工業		
商業		
水産業		
其ノ他		
合計		

合計		

(五) 年度末現在金額別貸付金

(信用組合)

區別	組合員		内法人ノ分	
	人員	金額	人員	金額
百圓未滿	人	円	人	円
百圓以上五百圓未滿				
五百圓以上千圓未滿				
千圓以上貳千圓未滿				
貳千圓以上參千圓未滿				
參千圓以上五千圓未滿				
五千圓以上壹萬圓未滿				
壹萬圓以上				
合計				
一人當平均貸付金額				

(六) 年度末現在期間別貸付金

區別	組合員		內法人ノ分	
	金額	件數	金額	件數
證書貸付金 一年以內ノモノ	円	件	円	件
證書貸付金 一年ヲ超ユルモノ				
證書貸付金 小計				
手形貸付金 一年以內ノモノ				
當座貸越金 一年以內ノモノ				
當座貸越金 一年ヲ超ユルモノ				
當座貸越金 小計				
小計 一年以內ノモノ				
小計 一年ヲ超ユルモノ				
小計 合計				

手形ノ割引及其ノ決濟 (産業組合法第一條第四項ノ信用組合)

區別	前年度末現在 金額	前年度末現在 枚數	本年度割引 金額	本年度割引 枚數	本年度決濟 金額	本年度決濟 枚數	本年度末現在 金額	本年度末現在 枚數	割引歩合
約束手形 無擔保	円		円		円		円		分厘
約束手形 有擔保									
約束手形 小計									

年賦償還貸付金	
五年以內ノモノ	
十年以內ノモノ	
十五年以內ノモノ	
十五年ヲ超ユルモノ	
小計	
合計	

爲替手形			合計		
無擔保	有擔保	小計	無擔保	有擔保	合計

備考

一、脫退者ニ對スル割引手形ニシテ未ダ決濟セザルモノ

手形金額　圓　錢（枚　數）

二、償却セル割引手形左ノ如シ

種別	金額	枚數

八　貯金

（一）貯金ノ受入及其ノ拂戻

（信用組合）

區別	前年度末現在		本年度受入		本年度拂戻		本年度末現在		利率
	金額	人員又ハ團體數	金額		金額		金額	人員又ハ團體數	
	円		円		円		円		分厘
組合員ノ貯金									
据置貯金									
定期貯金									
當座貯金									
特別當座貯金									
合計									
（內法人ノ分）									
加入豫約者ノ貯金									
組ノ合家									
据置貯金									
定期貯金									

産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金

貸付ニ在ル同一者			團體ノ貯金					小計				計
當座貯金	特別當座貯金	小計	據置貯金	定期貯金	當座貯金	特別當座貯金	小計	據置貯金	定期貯金	當座貯金	特別當座貯金	

産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金											合計											計
合計	據置貯金	定期貯金	當座貯金	特別當座貯金	合計	據置貯金	定期貯金	當座貯金	特別當座貯金	加入豫約者ノ貯金	總計											

（内法人ノ分）

備考

一、脱退者ノ貯金ニシテ未ダ拂戻ヲ爲サヽル金額　　圓　　錢（人員數）

（二）年度末現在職業者別貯金

（信用組合）

區別	組合員ノ貯金		産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金ヲ組合員ト同一ノ家ニ在ル者ノ貯金		産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金		合計	
	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員
	円	人	円	人	円	人	円	人
農業								
林業								
工業								
商業								
水産業								
其ノ他								
合計								

（三）年度末現在金額別貯金

（信用組合）

區別	組合員ノ貯金		産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金中組合員ト同一ノ家ニ在ル者ノ貯金		産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金		合計	
	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員
	円	人	円	人	円	人	円	人
百圓未滿								
百圓以上五百圓未滿								
五百圓以上千圓未滿								
千圓以上貳千圓未滿								
貳千圓以上參千圓未滿								
參千圓以上五千圓未滿								
五千圓以上壹萬圓未滿								
壹萬圓以上								
合計								
一人當平均貯金額								

九　年度内貸付金及貯金ノ利率

區別	貸付金	貯金		
		組合員ノ貯金	産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金	定期貯金
最高	圓	割	割	割
普通				
最低				

（信用組合）

十　販賣事業

（一）受入又ハ販賣シタル物ノ數量及價額

種目	前年度末現在 數量	前年度末現在 價額	本年度受入 數量	本年度受入 價額	本年度販賣 數量	本年度販賣 價額	本年度末現在 數量	本年度末現在 價額
受託								
小計								
（内法人ノ分）								
買取								
小計								
（内法人ノ分）								
合計								
（内法人ノ分）								

備考

（販賣組合）

一、受託販賣歩合金　　圓　錢　厘

二、買取販賣利益(損失)　　圓　錢　厘

三、販賣品受入人員　　人

(二) 販賣シタル物ノ販賣先別數量及金額

(販賣組合)

種目	石川縣販賣購買利用組合聯合會經由		其ノ他ノ産業組合及同聯合會		其ノ他		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
		円		円		円		円
合計								

(三) 販賣代金ノ假渡

(販賣組合)

種目	前年度末現在		本年度假渡		本年度受入		本年度末現在		利率
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	
		円		円		円		円	年 分 厘
合計									年
									年
									年
									平均

(四) 加工物細別

(販賣組合)

加工後ノモノ			加工前ノモノ			
種目	數量		種目	數量		備考

(五) 加工用設備

種目	數量	見積價額	備考
		円	
合計			

(販賣組合)

十一 購買事業

(一) 購買物仕入先別數量及金額

(購買組合)

品名	石川縣販賣購買利用組合聯合會		其ノ他商業組合及同聯合會		其ノ他		合計		備考
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
産業用品									
肥料									
大豆粕	瓩	円							
油粕類	瓩								
魚肥類	瓩								
配合肥料	瓩								
化成肥料	瓩								
合成肥料	瓩								
過燐酸石灰	瓩								
硫酸アンモニヤ	瓩								
石灰窒素	瓩								
硫酸加里	瓩								
其ノ他肥料	瓩								
石灰類	瓩								
小計	瓩								
農具類									
蠶具類									
種苗類									
飼料									
其ノ他									
其ノ他									
小計									
産業用品計									
經濟用品									
食料									
穀類	石								
調味類									
酒類									
麵類	貫								

品目		前年度末現在 數量	前年度末現在 金額	本年度買入 數量	本年度買入 金額	本年度賣却 數量	本年度賣却 金額	本年度末現在 數量	本年度末現在 金額	備考
産業經濟兩用品	其ノ他 小計									
産業經濟兩用品計										
經濟用品計	其ノ他 小計									
産業經濟兩用品	木炭	貫								
	石油	石								
	其ノ他 小計									
合計										

（二）買入又ハ賣却シタル物ノ數量及價額

（購買組合）

種目		前年度末現在 數量	前年度末現在 金額	本年度買入 數量	本年度買入 金額	本年度賣却 數量	本年度賣却 金額	本年度末現在 數量	本年度末現在 金額	備考
産	大豆粕（板）	瓩	円	瓩	円	瓩	円	瓩	円	
	大豆粕（撒）	瓩		瓩		瓩		瓩		
粕類	菜種油粕	瓩		瓩		瓩		瓩		
	荏油粕	瓩		瓩		瓩		瓩		
	棉實油粕	瓩		瓩		瓩		瓩		
		瓩		瓩		瓩		瓩		
		瓩		瓩		瓩		瓩		
魚肥	鰊ノ粕	瓩		瓩		瓩		瓩		
	鰮ノ粕	瓩		瓩		瓩		瓩		
	鱈ノ粕	瓩		瓩		瓩		瓩		
	鰯ノ粕	瓩		瓩		瓩		瓩		
	其他魚ノ粕	瓩		瓩		瓩		瓩		
	乾鰯（干加）	瓩		瓩		瓩		瓩		
	胴鰊	瓩		瓩		瓩		瓩		
	笹目	瓩		瓩		瓩		瓩		
	其他乾魚	瓩		瓩		瓩		瓩		
	魚粉末	瓩		瓩		瓩		瓩		
	魚鱗	瓩		瓩		瓩		瓩		
	生鰯	瓩		瓩		瓩		瓩		
	其他生魚	瓩		瓩		瓩		瓩		

業

硫酸加里	石灰窒素	燐酸アンモニヤ	過燐酸石灰	合成肥料 ニトロホース	ルイナホース	アンモホース	ニトロナ加里	化成肥料 燐酸加里				配合肥料 石州醤販賣鶴	賀利凡紳合會	合肥料	類 梅老粕	蟹殼	ウロ粕		
瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩

用

具 箕	鎌	鋤	肥料計	石灰類 生石灰	化石灰			其他肥料 加里肥料	骨粉	グアノ	醸造粕	米糠	煙草中骨	煙草屑	藁灰	木灰	塵芥灰	馬糞			
枚	丁	丁		瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩

品目

類	畳具類	種苗類	飼料	其ノ他	産業用品計（内法人ノ部）
	畳蓙 東				
	畳座紙 東				

經

穀類					調味類					酒類					麺類	
米	麥	豆	大豆	小豆	醤油	味噌	酢ノ素	食鹽	砂糖	清酒	ビール	プドー酒			ソーメン	ウドン
石斗					石斗	～	本	瓩	貫匁	石斗	本	本			～	～

濟

類		魚類			罐詰類	乾物類	其他食料品						食料品計	織物類	メリヤス類	雨具類	履物	地下足袋	足袋
		鮮魚	鹽魚	乾魚			茶	鷄卵	酒粕										
							斤	個	貫匁									足	足

用

類																			
ゴム靴	其ノ他	マッチ	化粧石鹼	洗濯石鹼	絲	綿	絲綿類	金物類	紙類	學用品	家庭品類	其ノ他							
足	足																		

品目		
經濟用品計		
（內法人ノ分）		
產業經濟兩用品　木炭（俵）		
石油（石）		
薪（〆）		
タドン（箱）		
コークス（〆）		
產業經濟兩用品計		
（內法人ノ分）		
總計		
（內法人ノ分）		

備考　購買利益

賣却人員

（三）生產物細別　（購買組合）

種目	本年度生產數量	備考
產業用		
小計		
經濟用		
小計		
產業經濟兩用		
小計		
合計		

（四）加工物細別

加工後ノモノ 種目	數量	加工前ノモノ 種目	數量	備考

（五）加工及生産用設備

（購買組合）

種目	數量	見積價額	備考
加工用			
生産用			
加工及生産兩用			
合計			

（一）組合員ノ設備利用

（利用組合）

設備				
種目	數量又ハ設備ノ見積價額	利用程度	利用料	備考
産業用	円	円		
小計				
(内法人ノ分)				
經濟用				
小計				
(内法人ノ分)				
産業經濟兩用				
小計				
(内法人ノ分)				
合計				
(内法人ノ分)				

十三　損益金計算

（各種組合）

利益		損失	
科目	金額	科目	金額
貸付金利息	円	借入金利息	円
貸付金遲延利息		貯金利息	
販賣利益金 歩合金		敗裝荷造材料費	
假渡金利息		運賃	
購買物品利益		理事及監事報酬	
賣却代金延納利息		諸給料	
利用料		旅費	
農業倉庫保管料		通信費	
預ヶ金利息		消耗品費	
有價證券利息		會議費	

系統機關配當金		公課及諸負擔金	
雜收入		雜費	
小計		減價償却	
前年度繰越金		前年度繰越缺損金	
合計		合計	

差引剩餘金(缺損)

雜收入內譯

雜費內譯

十四 事業ノ狀況

(各種組合)

月	日	

丁第　年度剰餘金處分案（昭和　年度）　（各種組合）

一金　圓　錢　厘　本年度總益金
一金　圓　錢　厘　本年度總損金
差引
一金　圓　錢　厘　本年度剰餘金
此處分
一金　圓　錢　厘（剰餘金　分ノ一）準備金
一金　圓　錢　厘　特別積立金
一金　圓　錢　厘（　）特別配當金
内金　圓　錢　厘　出資ノ拂込ニ充ツ
一金　圓　錢　厘（拂込濟出資金ニ對シ年　分ノ割）配當金
内金　圓　錢　厘　出資ノ拂込ニ充ツ
一金　圓　錢　厘　積立金
一金　圓　錢　厘
一金　圓　錢　厘　翌年度繰越金

第　回通常總會（總代會）ノ狀況

總會（總代會）　開會　年　月　日　時
　　閉會　年　月　日　時
總組合員（總總代員）數　名
出席組合員（出席總代員）數　名（内議決權ヲ委任シタル者　名）

議題

一、財産目錄貸借對照表事業報告書及剰餘金處分案承認ノ件
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、

右決議ノ要領

第　　年度財産目錄貸借對照表事業報告書剩餘金處分案別冊ノ通ニ候也

責任　　組合

理事
理事
理事
理事
理事

右各號ノ書類ヲ調査シタル結果正確ナルコトヲ認メ同意候也

昭和　年　月　日

責任　　組合

監事
監事
監事
監事
監事

產業組合及同聯合會取扱規程

産業組合及産業組合聯合會取扱規程

昭和十一年十二月五日石川縣訓令甲第二十五號

第二條　産業組合又ハ産業組合聯合會ノ設立許可申請アリタルトキハ左ノ事項ヲ調査シ意見ヲ附シ進達スベシ

一　設立ヲ必要トスル事情並ニ動機

二　區域内ニ於ケル産業並ニ經濟ノ狀況

三　組合ニ在リテハ區域内大字別ノ戸數加入有資格者數、設立者數、設立登記前ニ組合員ト爲ルベキ者ノ見込數、加入見込ナキ者ノ數及加入見込ナキ者ニ付テハ其ノ事情聯合會ニ在リテハ區域内ノ組合及聯合會數、加入有資格者數、設立者數、設立登記前ニ加入スベキ見込數及加入見込ナキモノニ付テハ其ノ事情

四　理事、監事及事務員トナルベキ者ノ氏名、資産、性行及社會上ニ於ケル地位並ニ經歷ノ概要

前項ノ規定ハ合併認可申請アリタル場合ニ準用ス

第二條　産業組合法第一條第七項ノ規定ニ依ル組合ノ設立許可申請アリタルトキハ産業組合法施行規則第一條ノ四ニ掲グル事項並ニ設備ヲ利用セシメントスルモノノ適否ヲ調査シ意見ヲ具申スヘシ

定款變更又ハ合併ニ因リ産業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行ハントスル場合亦同ジ

第三條　産業組合又ハ産業組合聯合會ヨリ左ニ掲グル事項ニ付定款變更認可申請アリタルトキハ市町村長ハ意見ヲ附シ之ヲ進達スベシ

一　目的ノ變更
二　組織ノ變更
三　區域ノ變更
四　事務所ノ移轉增設又ハ廢止
五　出資一口ノ金額ノ減少

第四條　産業組合又ハ産業組合聯合會ガ左ノ各號ノ一ニ該當スル事實アリト認ムルトキハ市町村長ハ意見ヲ附シ之ヲ報告スベシ

一　解散セントスル內情アルトキ
二　事業ヲ休止シタルトキ
三　破産ノ請求ヲ爲シ又ハ支拂停止シタルトキ
四　不良ノ世評アルトキ

第五條　産業組合又ハ産業組合聯合會ノ解散認可申請アリタルトキハ市町村長ハ左ノ事項ヲ調査シ意見ヲ附シ之ヲ進達スベシ

一　解散誘致ノ原因
二　解散ニ因リ其ノ地方ノ産業經濟並ニ民心ニ及ボス影響

附　則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

産業組合ニ關スル勅令並省令

一 産業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニ關スル件

二 産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金ノ管理ニ關スル件

三 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル市街地指定ノ件

四 昭和七年法律第三十號産業組合法中改正法律附則第二條ノ産業組合又ハ産業組合聯合會ノ組織變更ニ關スル件

五 産業組合法第一條第八項ノ規定ニ依ル利用組合ノ設備指定ニ關スル件

六 産業組合法第六條ノ三ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一部委任ニ關スル件

一　産業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニ關スル件

大正六年十月廿六日勅令第二百號
改正大正十年八月三日勅令第三百七十二號

産業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニシテ左ノ各號ノ一ニ關スルモノハ農商務大臣及大藏大臣協議シテ之ヲ行フ

一　産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引又ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合

二　信用組合聯合會及産業組合中央會ノ事業中前號ノ信用組合ニ關スル事業

前項ノ規定ハ樺太ニ付テハ之ヲ適用セス

附　則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十年勅令第三百七十二號）

本令ハ大正十年法律第七十三號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二　産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金ノ管理ニ關スル件

大正六年十月二十六日勅令第二百一號
改正大正十年四月十二日勅令第九十四號
改正昭和六年一月二十七日勅令第五號

第一條　産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金ノ管理ハ左ノ方法ニ依ルヘシ

一　金錢又ハ有價證券ノ供託

二　郵便貯金法ニ依ル貯金又ハ有價證券保管

三　産業組合中央金庫ヘノ貯金

四　信用組合聯合會ヘノ貯金

前項第四號ノ貯金ハ拂戻準備金總額ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第二條　前條ノ有價證券ノ種類ハ左ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

一　國債證券

二　地方債證券

三　産業債券

第三條　第一條ノ有價證券ノ見積價格ハ事業年度ニ從ヒ毎六月末日ノ時價ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條　産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ハ事業年度ニ從ヒ六月毎ニ遲滯ナク第一條ノ規定ニ依ル管理ノ手續ヲ爲シ同法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ額ヲ記載シタル書面及管理ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ書面ヲ添ヘ其ノ旨地方長官ニ屆出ツヘシ

第五條　拂戻準備金ハ地方長官ノ承認ヲ受クルニ非サレハ之ヲ引出スコトヲ得ス

前項ノ承認ノ申請ハ其ノ事由ヲ具シタル書面ニ産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ現在額竝證券ヲ引出スモノニ在リテハ證券ノ種類、記號、番號、券面ノ金額及枚數ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ爲スヘシ

附　則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十年勅令第九十四號）

本令ハ大正十年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ供託又ハ保管ニ係ル國債證券及地方債證券以外ノ有價證券ハ本令施行ノ日ヨリ五年ヲ限リ本令ノ規定ニ拘ラス仍其ノ効力ヲ有ス

附　則（昭和六年勅令第五號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和六年一月二十八日公布）

三　産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル市街地指定ノ件

大正六年十二月四日農商務省告示第三百四十六號
追加大正七年十一月二十一日農商務省告示第七九一六號
追加大正八年十二月二十九日農商務省告示第三一三號
追加大正十年七月七日農商務省告示第百七十三號
追加大正十二年一月三十一日農商務省告示第二十四號
追加大正十四年一月二十八日農商務省告示第三十號
追加大正十五年六月二十一日農林省告示第百七十五號
追加昭和五年七月二十四日農林省告示第三百二十六號
追加昭和七年六月二十一日農林省告示第百九十號

産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル市街地ヲ左ノ通リ指定ス

（北海道廳）夕張町　留萌町　岩内町　岩見澤町　網走町　餘市町　野付牛町　帶廣町
（京都府）新舞鶴町　舞鶴町　宮津町（神奈川縣）小田原町（兵庫縣）洲本町　御影町　住吉村（長崎縣）島原町　湊町（新潟縣）新發田町　三條町（埼玉縣）熊谷町　浦和町　忍町　本庄町　大宮町　深谷町　秩父町（群馬縣）伊勢崎町　館林町（千葉縣）本銚子町　佐原町（茨城縣）石岡町　結城町（栃木縣）栃木町　佐野町　鹿沼町　足尾町（三重縣）桑名町　上野町　松坂町（愛知縣）津島町　西尾町　半田町　龜崎町（靜岡縣）三島町　島田町　大宮町（滋賀縣）彦根町　長濱町（岐阜縣）中津町　高山町　多治見町　豐岡町（長野縣）飯田町（宮城縣）石卷町　鹽釜町（福島縣）平町　白河町　須賀川町（山形縣）酒田町　新庄町（秋田縣）能代港町　土崎港町　横手町（福井縣）敦賀町（石川縣）小松町　七尾町（富山縣）魚津町　新湊町（岡山縣）玉島町（山口縣）防府町　德山町　柳井町（和歌山縣）新宮町　日方町　黑江町（德島縣）撫養町（香川縣）坂出町　觀音寺町（愛媛縣）八幡濱町（大分縣）臼杵町（大阪府）池田町

臺灣ニ於ケル市街地ノ指定左ノ如シ

大正六年十一月二十二日臺灣總督告示第百四十一號
大正十二年十二月十四日臺灣總督告示第二十一號

（臺北州）宜蘭街　淡水街　新莊街（新竹州）新竹街　桃園街（臺中州）彰化街
鹿港街　豐原街　員林街　南投街（臺南州）嘉義街　斗六街　北港街（高雄州）屏
東街　東港街（花連港廳）花連港街

四　昭和七年法律第三十號產業組合法中改正法律附則第二條ノ產業組合又ハ產業組合聯合會ノ組織變更ニ關スル件

昭和七年九月三十日勅令第二百七十六號

昭和七年法律第三十號附則第二條ノ產業組合ニ於テ同法附則第三條第一項ノ規定ニ依リ組織變更ノ決議アリタルトキハ遲滯ナク其ノ決議ニ贊成シタル組合員以外ノ組合員ニ對シ組織變更ニ同意セサルモノハ通知ヲ受ケタル日ヨリ三週間以內ニ其ノ旨ヲ申出ツル場合ニ限リ組織變更ノ時ニ於テ脫退シタルモノト看做サルル旨ノ通知ヲ爲スヘシ

前項ノ決議ニ贊成シタル組合員以外ノ組合員ニシテ前項ノ期間內ニ又ハ前項ノ通知ヲ受クル迄ノ間ニ組合ニ對シ組織變更ニ同意ヲ爲ササル旨ノ申出ヲ爲シタルモノハ組織變更ノ時ニ於テ脫退シタルモノト看做ス

前二項ノ規定ハ昭和七年法律第三十號附則第二條ノ產業組合聯合會ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ昭和七年法律第三十號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

五　產業組合法第一條第八項ノ規定ニ依ル利用組合ノ設備指定ニ關スル件

大正十五年五月十九日勅令第百三十一號

產業組合法第一條第八項ノ規定ニ依リ利用組合ノ設備ニシテ組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ利用セシムルコトヲ得ルモノヲ指定スルコト左ノ如シ

電氣設備、水道、浴場、種畜、乾繭裝置

附　則